

# いわての観光統計

「観光入込客統計に関する共通基準」  
に基づく統計量推計結果  
(平成26年10月~12月)



岩手県PRキャラクター「わんこきょうだい」

平成27年7月

岩手県 商工労働観光部 観光課

# 目 次

## 第1部:「観光入込客統計に関する共通基準」に基づく統計

1. 調査概要	1
(1) 調査対象期間	1
(2) 共通基準について	1
(3) 調査方法	1
(4) 調査体系	2
(5) 集計対象(範囲)	2
(6) 用語の定義	3
(7) その他	4
①延べ人数と実人数について	4
②調査エリアについて	4
2. 調査結果	5
(1) 調査対象地点数	5
(2) 観光地点等入込客数(延べ人数)	5
①総数	5
②地域別入込客数	5
③月別入込客数	6
④市町村別・月別入込客数	7
⑤地域別・分類別入込客数	10
(3) 観光入込客数(実人数)	11
(4) 観光消費額	14
①観光消費額単価(日帰り宿泊別・県内県外別)	14
②観光消費額(日帰り宿泊別・県内県外別)	16

## 第2部:観光地点パラメータ調査結果から見る観光客の動向分析

1. 調査概要	18
2. 観光客の動向分析	19
(1) 問1 住まいの地域	19
(2) 問2 性別・年代	20
(3) 問3 宿泊形態および宿泊数	21
(4) 問4 訪問の目的	23
(5) 問5 旅行人数、同行者のタイプ	23
(6) 問6 観光地訪問の認知、回数	24
(7) 問7 岩手県訪問の認知、回数(岩手県外の方のみ対象の設問)	24
(8) 問8 観光地への交通機関	25
(9) 問9 今回の旅行費用について	26

# 第1部 「観光入込客統計に関する共通基準」に基づく統計

## 1. 調査概要

### (1) 調査対象期間

平成26年10月1日～平成26年12月31日（第3四半期）

### (2) 共通基準について

観光立国の実現に関する施策を総合的かつ計画的に推進することを目的として制定された観光立国推進基本法（平成18年法律第117号）において、国は観光に関する統計の整備に必要な施策を講ずることとされている。

また、観光立国推進基本計画（平成19年6月29日閣議決定）において、「日帰り旅行者に関する統計等その他の観光旅行者に関する統計について、都道府県が行っている統計調査を踏まえつつ、地方公共団体が採用可能な共通基準を策定し、平成22年に共通基準での調査の実施を目指す」とされた。

共通基準は、都道府県における観光入込客に関する統計＝「観光入込客統計」について、把握する項目の定義、調査手法、推計方法等に関する基準を共通化し、都道府県が相互に比較可能な信頼性の高い統計を作成する目的で定めたものである。

### (3) 調査方法

観光入込客統計は、以下に掲げる調査により、都道府県ごとの観光入込客数、観光消費額単価、観光消費額についての統計量を示すものである。

#### ①観光地点等入込客数調査（全数調査）

都道府県内の観光地点及び行祭事・イベントに訪れた人数を、観光地点の管理者、行祭事・イベントの実施者等に四半期ごとに報告を求め調査するもの。

#### ②観光地点パラメータ調査（サンプル調査）

都道府県内の観光地点を訪れた観光客を対象に、訪問地点数、観光消費額単価等について、四半期ごとに調査するもの。

#### ③他の統計調査

上記①②を補完するため、国で承認された一般統計である宿泊旅行統計調査、旅行・観光消費動向調査等を活用する。

#### (4) 調査体系

本調査の実施単位は岩手県であるが、調査内容が多岐に渡ることから、岩手県及び県内の市町村が相互に連携・協力して実施しているものである。

市町村は選定した観光地点の管理者や行祭事・イベントの運営者に観光入込客数を確認し、岩手県は市町村からの報告結果をとりまとめるとともに、10 地点以上の観光地を選定し、観光地点パラメータ調査を実施した。

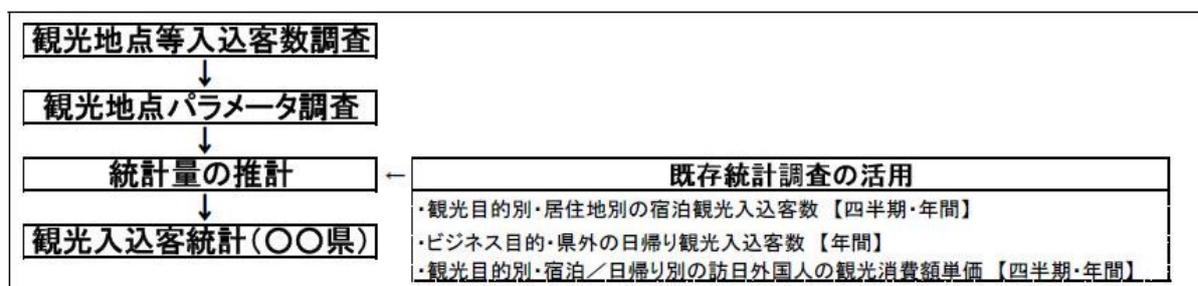


図 1 観光入込客統計の調査体系

#### (5) 集計対象（範囲）

観光入込客統計で統計量を推計する対象となる観光地点は、以下の3つの要件を満たす観光地点となる。ただし、行祭事・イベントについては、②及び③の要件を満たすものを集計の対象として取り扱うものとする。

- ①非日常利用が多い（月1回以上の頻度で訪問する人数の割合が半分未満）と判断される地点であること。ただし、「訪問する頻度が高い者＝日常利用者である」とは言い切れない地点については、本要件を満たすものとして取り扱っても差し支えない。
- ②観光入込客数が適切に把握できる地点であること。
- ③観光入込客数が年間1万人以上、若しくは特定月の観光入込客数が5千人以上であること。

なお、上記の確認は、毎年1月1日現在で行うこととなっている。調査年の途中で、観光入込客数が上記の要件を満たすこととなった観光地点が新設された場合は、要件を満たすことになる四半期から名簿に追加することとする。

また、1度限りの大規模な行祭事・イベント等、前年の入込客数が把握できないものの、調査年の途中で観光入込客数が上記要件を満たすこととなった場合も、同様に名簿に追加することができる。

## (6) 用語の定義

本報告に使われる用語の定義を以下に記す。

観光	余暇、ビジネス、その他の目的のため、日常生活圏を離れ、継続して1年を超えない期間の旅行をし、また滞在する人々の諸活動
ビジネス目的	旅行の主目的がビジネスである者が、観光地点を訪れることを意味する。
観光地点	観光・ビジネスの目的を問わず、観光客を集客する力のある施設又はツーリズム等の観光活動の拠点となる地点を意味し、日常的な利用、通過型の利用がほとんどを占めると考えられる地点は対象としない。
行祭事・イベント	行祭事とは、地域住民の生活において伝統と慣行により継承されてきた、恒例として日を定め執り行う歴史的催し・祭り、郷土芸能等の集合を意味し、イベントとは、常設又は特設の会場施設において行われる博覧会、見本市、コンベンション等を意味する。
観光入込客	日常生活圏以外の場所へ旅行し、そこでの滞在が報酬を得ることを目的としない。観光地点及び行祭事・イベントを訪れた者を観光入込客とする。
訪日外国人客	観光入込客のうち、日本以外の国に居住し、観光地点及び行祭事・イベントを訪れた者
観光地点等入込客数	観光地点及び行祭事・イベントごとの観光入込客の総数
観光入込客数	都道府県の観光地点を訪れた観光入込客をカウントした値で、例えば、1人の観光入込客が当該都道府県内の複数の観光地点を訪れたとしても1人・回と数える。
訪問地点数	観光入込客1人の1回の旅行において、当該都道府県内で訪問した観光地点の数
観光消費額単価	観光入込客1人の1回の旅行における当該都道府県内での観光消費額
観光消費額	当該都道府県を訪れた観光入込客の消費の総額。観光入込客数と観光消費額単価を掛け合わせることで算出される。

## (7) その他

### ①延べ人数と実人数について

観光入込客数の実人数とは1人の観光客が1回の旅行で複数の観光地を訪問した場合でも「1」と数えるもので、延べ人数の場合は1人の観光客が1回の旅行で複数の観光地を訪問した場合にその観光地の数だけ数える（例えば5箇所を訪問した場合は「5」と数える）ものである。

### ②調査エリアについて

調査対象となる岩手県内の4つの地域（県央エリア、県南エリア、沿岸エリア、県北エリア）は以下のとおり。

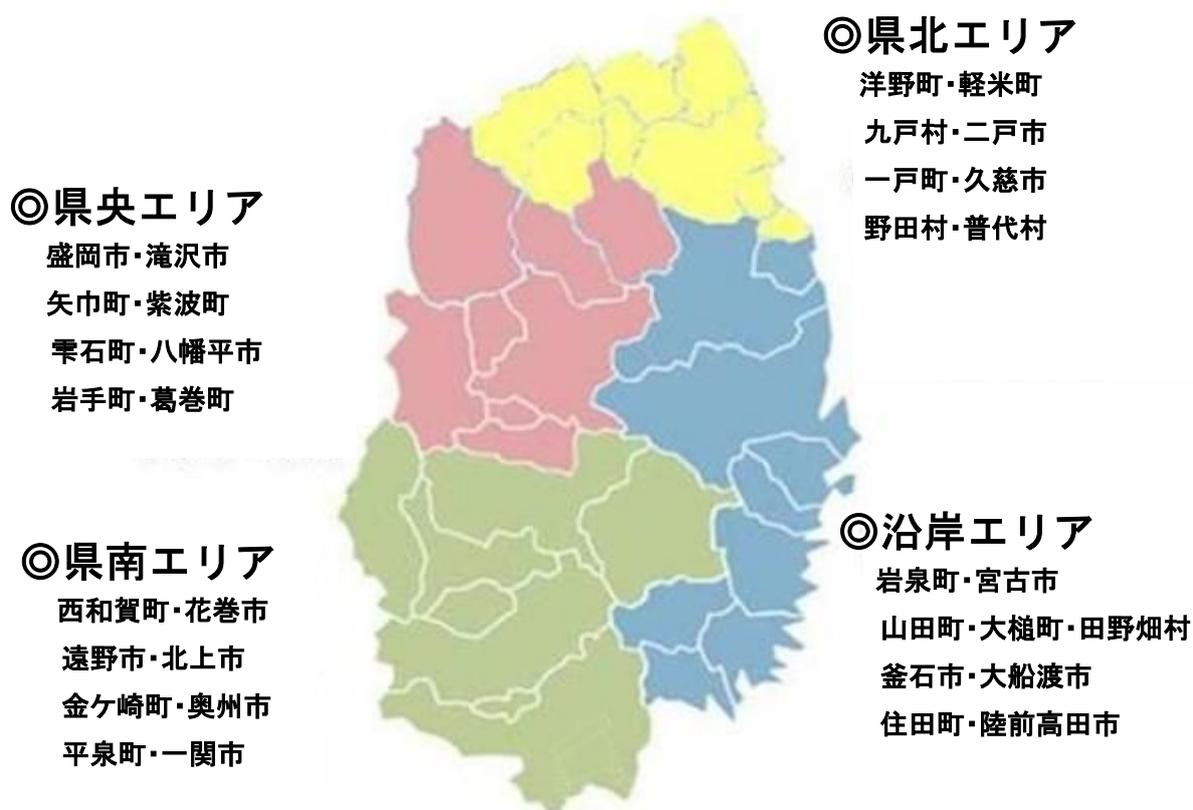


図2 調査エリア

## 2. 調査結果

### (1) 調査対象地点数

調査の対象となる地点数は表 1 に示すとおり、観光地点総数が 277、行祭事・イベントが 121 である。

表 1 調査対象地点数

総数	観光地点						行祭事 ・イベント
	自然	歴史 ・文化	温泉 ・健康	スポーツ・ レクリエー ション	都市型 観光	その他	
277	34	60	78	57	27	21	121

### (2) 観光地点等入込客数（延べ人数）

#### ① 総数

平成 26 年 10 月～12 月の入込客数（延べ人数）は、岩手県全体で 6,004,160 人回となり、前年度比で 104.3%、東日本大震災津波発災前の平成 22 年度比では 100.6%となった。

#### ② 地域別入込客数

岩手県内の 4 つの地域（県央エリア、県南エリア、沿岸エリア、県北エリア）の状況は、表 2 及び図 3 に示すとおりである。

入込客数では県南エリアが 2,622,732 人回と最も多く、県北エリアが 655,974 人回と最も少ない。前年度比では、県北エリアが 93.2%と減少しているものの、その他の地域では、前年度を上回っている。県央エリアと県北エリアについては、平成 22 年度比ではそれぞれ 120.7%、104.5%と震災前を超えている。

表 2 地域別入込客数（延べ人数）

単位：人回

地域区分	10 月	11 月	12 月	平成 26 年度 10-12 期合計	平成 25 年度比	平成 25 年度 10-12 期合計	平成 22 年度比	平成 22 年度 10-12 期合計
県央エリア	899,771	474,920	416,267	1,790,958	106.4%	1,682,986	120.7%	1,483,656
県南エリア	1,353,009	875,377	394,346	2,622,732	101.7%	2,578,453	99.5%	2,634,787
沿岸エリア	448,354	313,810	172,332	934,496	118.3%	789,975	76.6%	1,220,479
県北エリア	314,479	198,395	143,100	655,974	93.2%	704,113	104.5%	627,455
総計	3,015,613	1,862,502	1,126,045	6,004,160	104.3%	5,755,527	100.6%	5,966,377

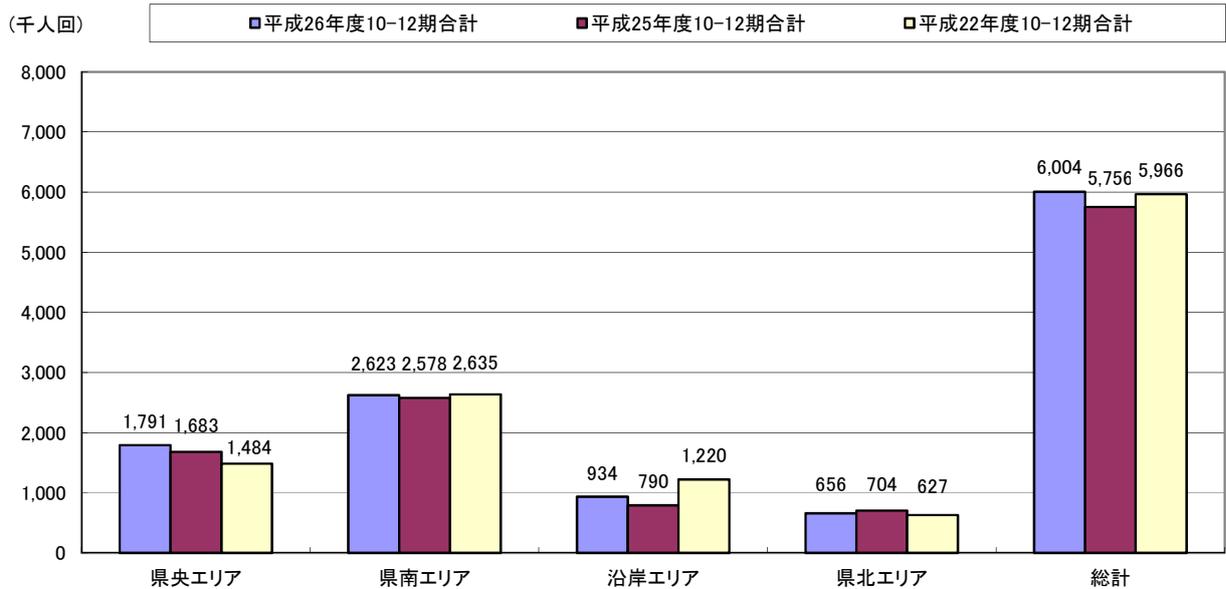


図3 地域別入込客数（延べ人数から算出）

③ 月別入込客数

岩手県全体での月別の入込客数（延べ人数）は表3及び図4に示すとおりである。

10月が3,015,613人回と最も多い。平成25年度比では、10月が111.8%、11月が105.1%、12月が87.6%となっている。平成22年度比では、11月が103.3%、12月が104.8%と震災前を上回っている。

表3 月別入込客数（延べ人数）

単位：人回

月	平成26年度	平成25年度比	平成25年度	平成22年度比	平成22年度
10月	3,015,613	111.8%	2,698,396	97.6%	3,088,855
11月	1,862,502	105.1%	1,771,981	103.3%	1,802,931
12月	1,126,045	87.6%	1,285,150	104.8%	1,074,591

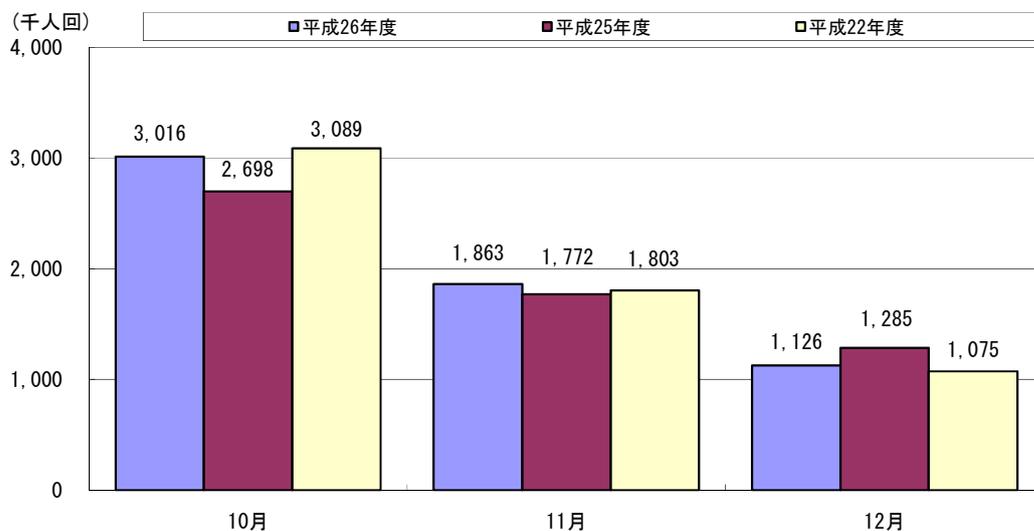


図4 月別入込客数（延べ人数から算出）

#### ④ 市町村別・月別入込客数

岩手県内の市町村毎の月別入込客数（延べ人数）は表4並びに図5-1、5-2、6-1、6-2に示すとおりである。

最も入込客数が多かったのは平泉の609,345人回で、次いで一関市の540,949人回、花巻市の540,641人回となった。また、前年度比では、陸前高田市438.5%の入込客数の増加が目立っている。

表4 市町村別・月別入込客数（延べ人数）

単位：人回

市町村	10月	11月	12月	10-12期合計	平成25年度比	平成25年度10-12期合計	平成22年度比	平成22年度10-12期合計
盛岡市	201,852	160,759	72,111	434,722	109.1%	398,433	130.3%	333,589
宮古市	134,330	84,398	35,167	253,895	110.3%	230,226	76.2%	333,398
大船渡市	65,938	52,699	34,344	152,981	90.3%	169,488	92.4%	165,648
花巻市	243,980	193,770	102,891	540,641	99.2%	544,796	130.2%	415,223
北上市	38,060	21,280	25,982	85,322	79.5%	107,379	406.3%	21,000
久慈市	82,901	41,381	27,114	151,396	71.1%	212,875	139.9%	108,249
遠野市	175,156	126,812	66,435	368,403	101.0%	364,656	90.0%	409,435
一関市	343,864	129,712	67,373	540,949	105.8%	511,353	89.9%	601,770
陸前高田市	71,072	83,369	54,631	209,072	438.5%	47,680	95.6%	218,584
釜石市	38,720	14,193	9,430	62,343	68.0%	91,668	28.2%	221,210
二戸市	66,674	32,155	24,293	123,122	108.1%	113,888	80.5%	152,867
八幡平市	224,719	74,985	151,359	451,063	102.4%	440,420	133.8%	337,001
奥州市	172,560	57,320	38,614	268,494	106.4%	252,234	101.5%	264,569
滝沢市	27,844	13,967	2,238	44,049	83.5%	52,740	164.1%	26,842
雫石町	217,559	123,639	114,145	455,343	112.6%	404,312	136.5%	333,701
葛巻町	44,505	22,378	15,410	82,293	100.8%	81,679	88.5%	92,968
岩手町	70,475	18,628	9,693	98,796	113.2%	87,297	99.7%	99,099
紫波町	73,957	46,144	32,730	152,831	97.2%	157,303	88.2%	173,297
矢巾町	38,860	14,420	18,581	71,861	118.2%	60,802	82.4%	87,159
西和賀町	59,979	39,853	25,883	125,715	102.6%	122,509	95.4%	131,788
金ヶ崎町	35,253	28,105	20,505	83,863	98.0%	85,595	91.1%	92,037
平泉町	284,157	278,525	46,663	609,345	103.3%	589,931	87.2%	698,965
住田町	9,314	6,915	3,142	19,371	95.0%	20,384	84.9%	22,822
大槌町	-	-	-	-	-	-	-	30,647
山田町	17,237	16,801	14,570	48,608	98.1%	49,532	215.0%	22,610
岩泉町	41,343	30,035	13,248	84,626	104.4%	81,047	99.0%	85,450
田野畑村	70,400	25,400	7,800	103,600	103.7%	99,950	86.3%	120,110
普代村	4,911	3,608	3,801	12,320	74.1%	16,634	118.4%	10,409
軽米町	13,771	6,477	1,483	21,731	107.8%	20,153	94.7%	22,937
野田村	27,712	27,639	15,388	70,739	98.8%	71,630	104.4%	67,779
九戸村	5,039	4,170	4,019	13,228	100.1%	13,218	124.4%	10,631
洋野町	84,411	62,188	46,902	193,501	105.8%	182,867	102.1%	189,565
一戸町	29,060	20,777	20,100	69,937	96.0%	72,848	107.6%	65,018
総計	3,015,613	1,862,502	1,126,045	6,004,160	104.3%	5,755,527	100.6%	5,966,377

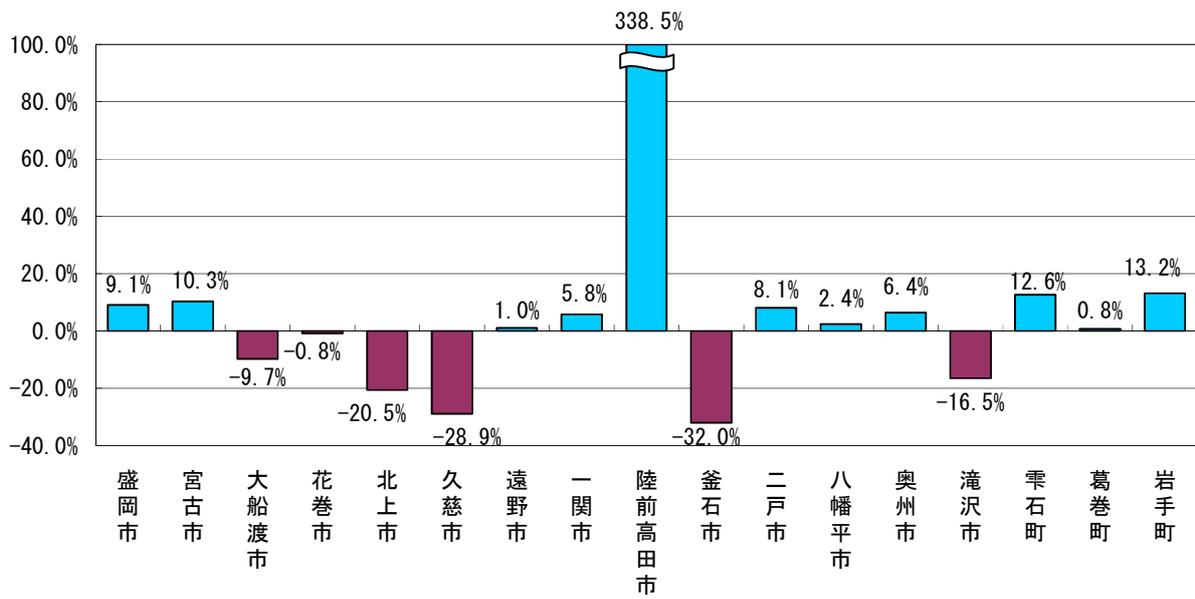


図5-1 市町村別・月別入込客数 平成25年度増減比(1)

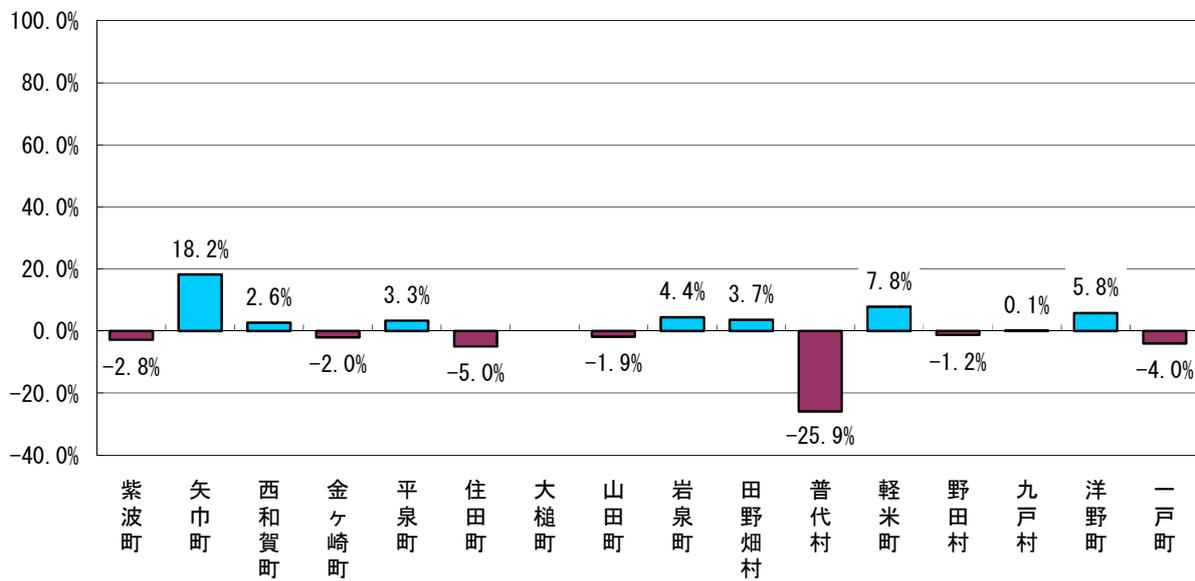


図5-2 市町村別・月別入込客数 平成25年度増減比(2)

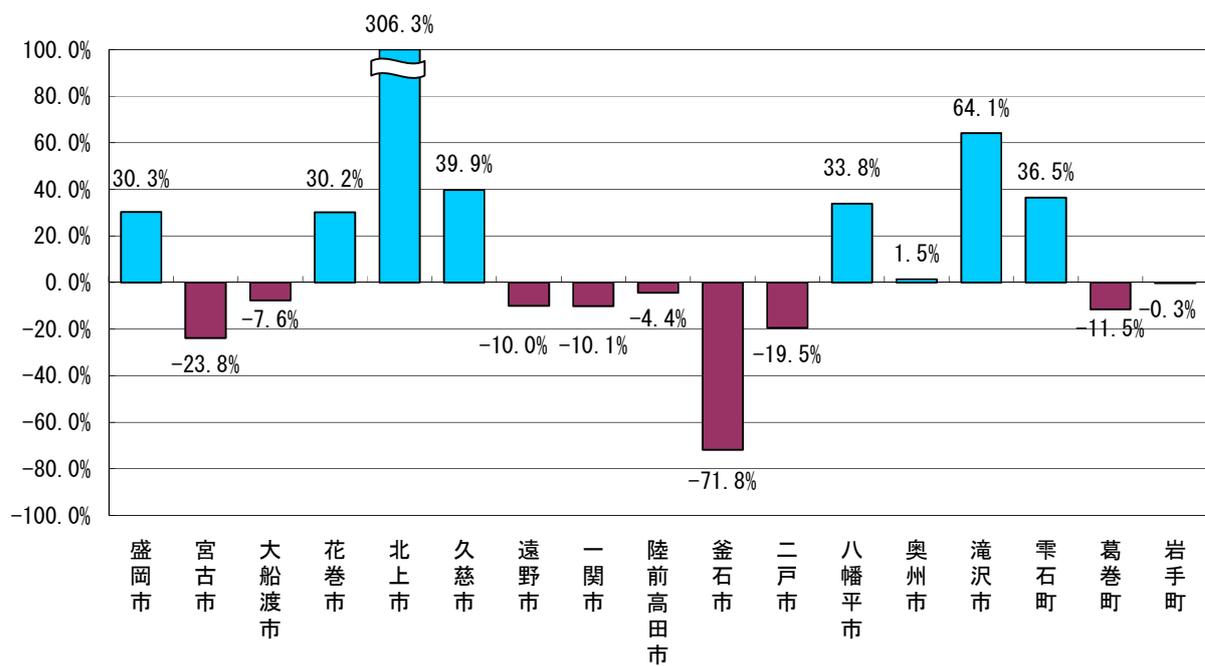


図6-1 市町村別・月別入込客数 平成22年度増減比(1)

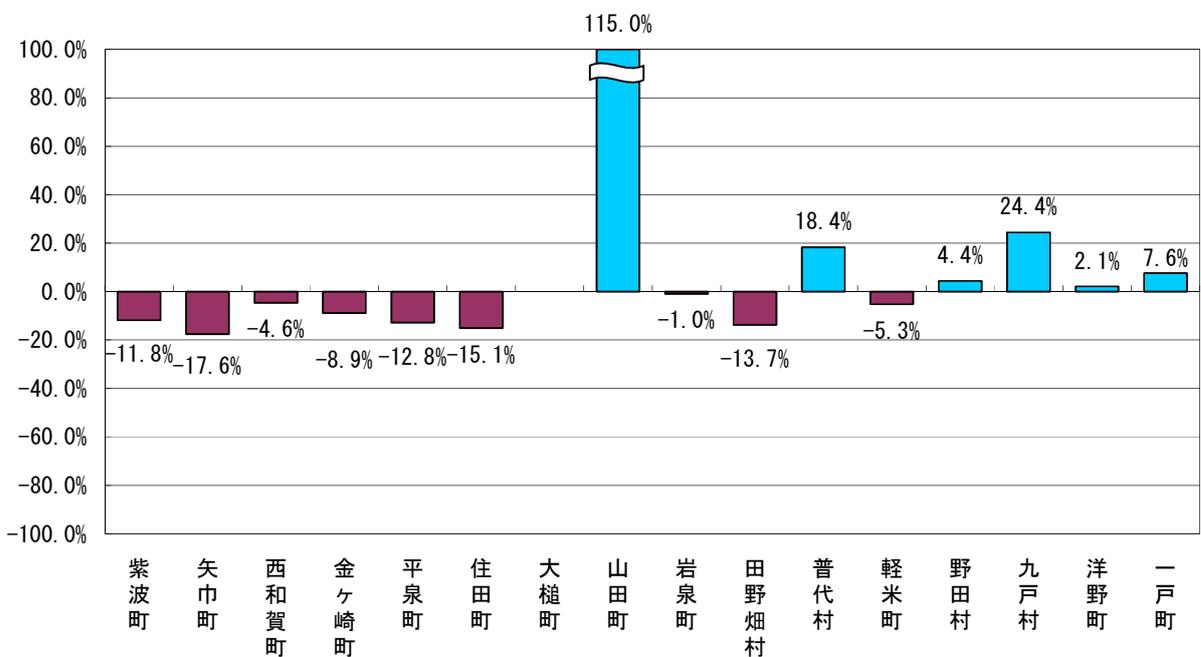


図6-2 市町村別・月別入込客数 平成22年度増減比(2)

⑤ 地域別・分類別入込客数

岩手県内の地域別・分類別入込客数及び割合（延べ人数から算出）は表 5 及び図 7 に示すとおりである。

岩手県全体で見ると「温泉・健康」が 1,390,117 人回と最も多く、県央で最も多い入込割合を占めている。次いで「行祭事・イベント」の 959,898 人回、「自然」の 913,867 人回となっている。

表 5 地域別・分類別入込客数

単位：人回

地域区分	自然	歴史・文化	温泉・健康	スポーツ・レクリエーション	都市型観光（買物・食）	その他	行祭事・イベント
県央エリア	239,929	209,607	592,242	354,276	71,082	158,519	165,303
県南エリア	352,268	459,020	600,382	142,491	403,347	23,909	641,315
沿岸エリア	201,835	31,289	66,049	11,833	253,191	312,559	57,740
県北エリア	119,835	33,564	131,444	30,202	144,057	101,332	95,540
総計	913,867	733,480	1,390,117	538,802	871,677	596,319	959,898

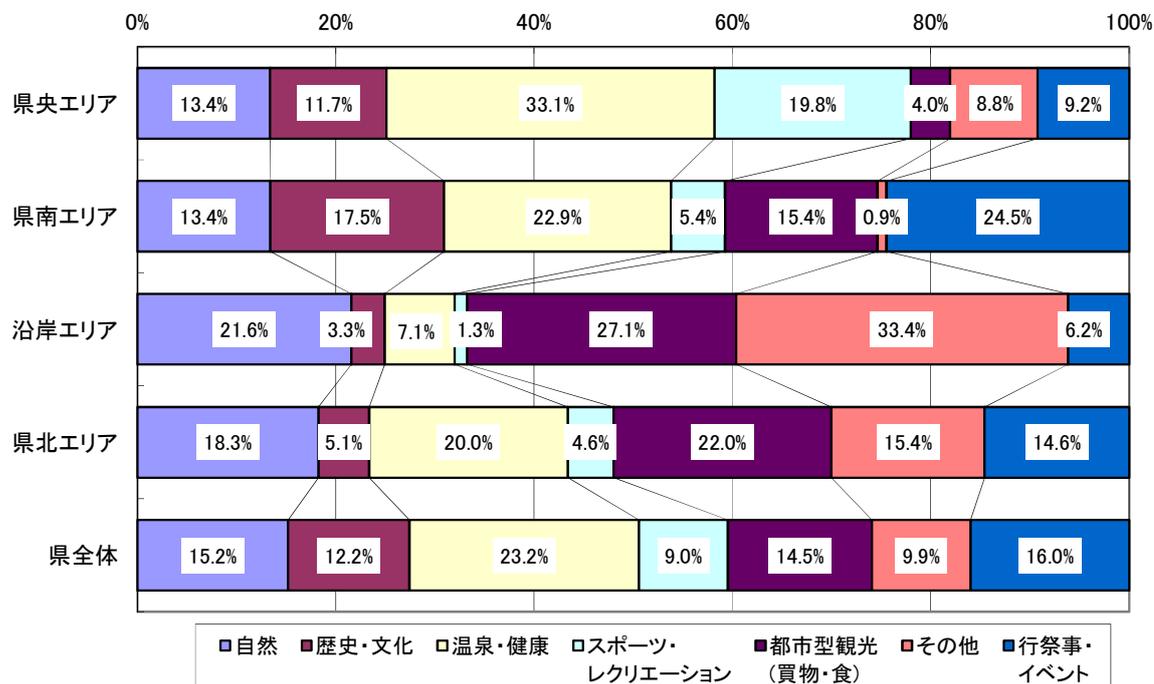


図 7 地域別・分野別入込割合（延べ人数から算出）

### (3) 観光入込客数（実人数）

観光入込客数（実人数）は表 6-1、6-2、7 及び図 8-1、8-2 に示すとおりである。

なお、この入込客数は実人数であり、観光地点等ごとの重複を除いた数値である。1 人の観光入込客が当該都道府県内の複数の観光地点等を訪れたとしても 1 人・回と数える。

総数は 2,379 千人・回で対前年度比 101.4%となっている。

目的別では、観光目的は対前年度比 97.9%と前年度を下回っているが、ビジネス目的は対前年度比 108.7%と増加している。

宿泊・日帰り別では、宿泊は対前年度比 101.5%、日帰りは対前年度比 101.3%と増加している。

また、これを県外・県内別でみると、県外が対前年度比 96.9%、県内が対前年度比 108.1%となっている。

表 6-1 日帰り宿泊別・県内県外別入込客数（実人数）

単位：千人・回

推計項目		宿泊			日帰り			10-12 期 合計
		宿泊計	県外	県内	日帰り計	県外	県内	
観光目的 入込客数	平成 26 年度 10-12 期合計	678	402	276	877	380	497	1,555
	平成 25 年度比	93.9%	97.3%	89.3%	101.3%	87.4%	115.3%	97.9%
	平成 25 年度 10-12 期合計	722	413	309	866	435	431	1,588
	平成 22 年度比	90.3%	103.3%	76.2%	47.0%	52.2%	43.8%	59.5%
	平成 22 年度 10-12 期合計	751	389	362	1,864	728	1,136	2,615
ビジネス目的 入込客数	平成 26 年度 10-12 期合計	586	339	247	238	232	6	824
	平成 25 年度比	112.0%	106.6%	120.5%	101.3%	100.4%	150.0%	108.7%
	平成 25 年度 10-12 期合計	523	318	205	235	231	4	758
	平成 22 年度比	158.4%	138.4%	197.6%	321.6%	1,933.3%	9.7%	185.6%
	平成 22 年度 10-12 期合計	370	245	125	74	12	62	444
合計	平成 26 年度 10-12 期合計	1,264	741	523	1,115	612	503	2,379
	平成 25 年度比	101.5%	101.4%	101.8%	101.3%	91.9%	115.6%	101.4%
	平成 25 年度 10-12 期合計	1,245	731	514	1,101	666	435	2,346
	平成 22 年度比	112.8%	116.9%	107.4%	57.5%	82.7%	42.0%	77.8%
	平成 22 年度 10-12 期合計	1,121	634	487	1,938	740	1,198	3,059

（注）入込客数には訪日外国人を含まない。

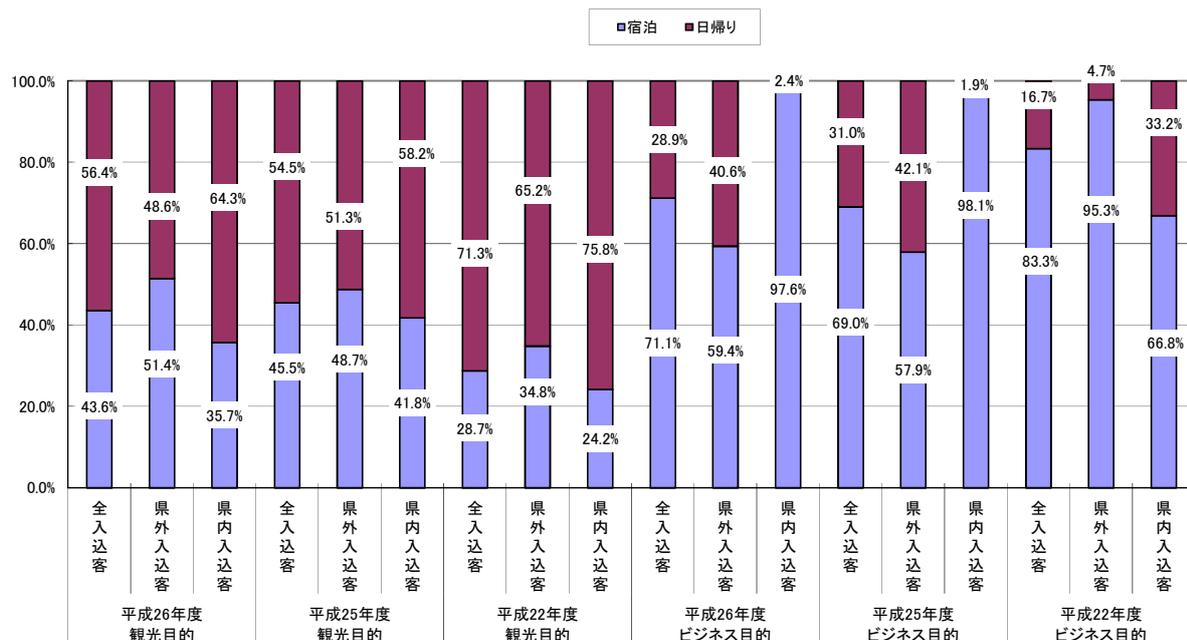


図8-1 年度別・目的別の宿泊・日帰り割合

表6-2 県内県外別・日帰り宿泊別入込客数（実人数）

単位：千人・回

推計項目	県外			県内			10-12期合計	
	県外計	宿泊	日帰り	県内計	宿泊	日帰り		
観光目的の入込客数	平成26年度10-12期合計	782	402	380	773	276	497	1,555
	平成25年度比	92.2%	97.3%	87.4%	104.5%	89.3%	115.3%	97.9%
	平成25年度10-12期合計	848	413	435	740	309	431	1,588
	平成22年度比	70.0%	103.3%	52.2%	51.6%	76.2%	43.8%	59.5%
	平成22年度10-12期合計	1,117	389	728	1,498	362	1,136	2,615
ビジネス目的の入込客数	平成26年度10-12期合計	571	339	232	253	247	6	824
	平成25年度比	104.0%	106.6%	100.4%	121.1%	120.5%	150.0%	108.7%
	平成25年度10-12期合計	549	318	231	209	205	4	758
	平成22年度比	222.2%	138.4%	1,933.3%	135.3%	197.6%	9.7%	185.6%
	平成22年度10-12期合計	257	245	12	187	125	62	444
合計	平成26年度10-12期合計	1,353	741	612	1,026	523	503	2,379
	平成25年度比	96.9%	101.4%	91.9%	108.1%	101.8%	115.6%	101.4%
	平成25年度10-12期合計	1,397	731	666	949	514	435	2,346
	平成22年度比	98.5%	116.9%	82.7%	60.9%	107.4%	42.0%	77.8%
	平成22年度10-12期合計	1,374	634	740	1,685	487	1,198	3,059

(注) 入込客数には訪日外国人を含まない。

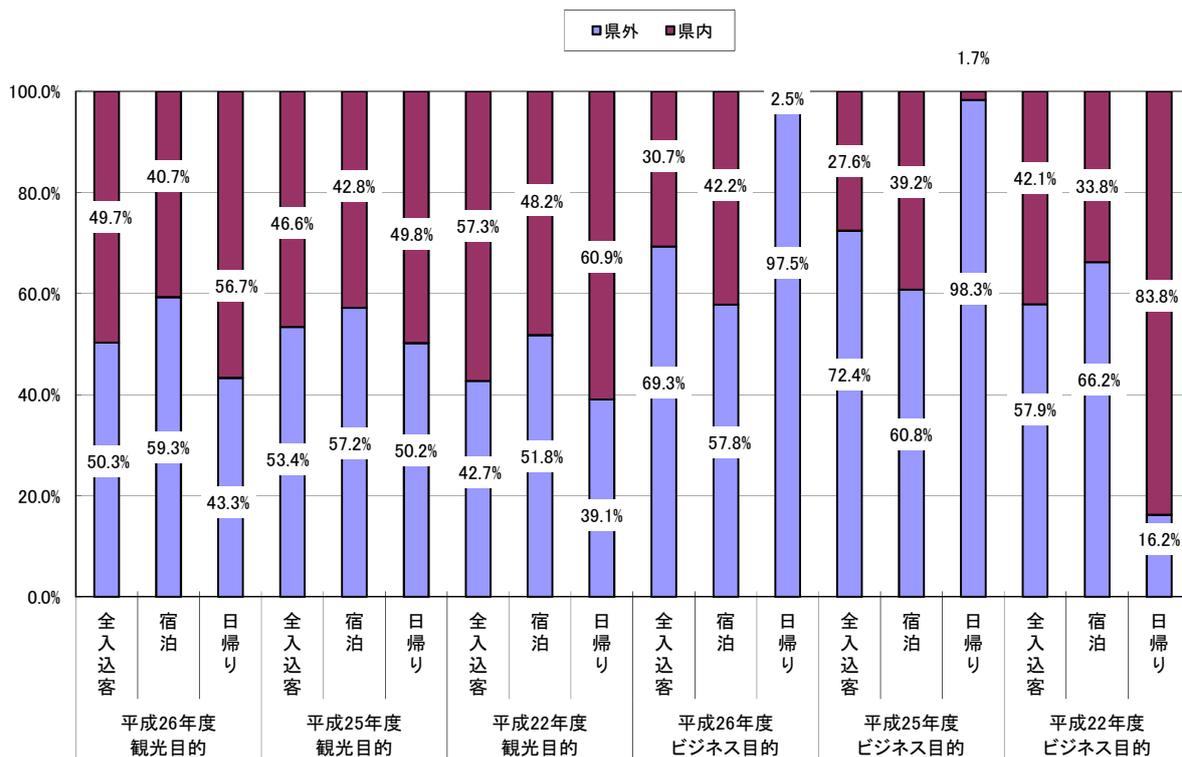


図 8-2 年度別・県内・県外別の宿泊・日帰り割合

また、本県を訪れる訪日外国人入込客は表7に示すとおりである。宿泊客は前年度より増加しているが（109.1%）、日帰りでの来県は見受けられない。

表 7 日帰り宿泊別・観光ビジネス別 訪日外国人入込客数（実人数）

単位：千人・回

推計項目	宿泊			日帰り			10-12 期合計
	宿泊計	観光	ビジネス	日帰り計	観光	ビジネス	
平成 26 年度 10-12 期合計	12	9	3	-	-	-	12
平成 25 年度比	109.1%	112.5%	100.0%	-	-	-	109.1%
平成 25 年度 10-12 期合計	11	8	3	-	-	-	11
平成 22 年度比	44.4%	39.1%	75.0%	-	-	-	44.4%
平成 22 年度 10-12 期合計	27	23	4	-	-	-	27

## (4) 観光消費額

### ① 観光消費額単価（日帰り宿泊別・県内県外別）

観光消費額単価は表 8、表 9 及び図 9 に示すとおりである。

なお、単位の「円／人・回」は、観光入込客 1 人の 1 回の旅行における観光消費額を指す。

観光目的及びビジネス目的の観光消費額単価は表 8 に示すとおりである。

観光目的では、県外の宿泊単価は対前年度比 120.7%、県内の宿泊単価は対前年度比 121.3%と前年度を上回っている。一方、県外及び県内の日帰り単価は、前年度を下回っている。

なお、観光消費額単価は、パラメータ調査（サンプル調査）での値であり、ビジネス目的観光消費額単価のようなサンプル数が少ない数値については、1 回答者の金額の影響が大きいことから、時系列での比較が難しい状況となっている。

表 8 日帰り宿泊別・県内県外別・観光消費額単価

単位：円／人・回

推計項目		宿泊		日帰り	
		県外	県内	県外	県内
観光目的	平成 26 年度 10-12 期 観光消費額単価	31,601	19,138	6,148	3,728
	平成 25 年度比	120.7%	121.3%	98.1%	68.9%
	平成 25 年度 10-12 期 観光消費額単価	26,175	15,776	6,267	5,408
	平成 22 年度比	129.9%	123.3%	102.7%	120.1%
	平成 22 年度 10-12 期 観光消費額単価	24,320	15,521	5,989	3,105
ビジネス目的	平成 26 年度 10-12 期 観光消費額単価	25,002	15,210	4,973	3,690
	平成 25 年度比	93.2%	74.3%	136.1%	78.2%
	平成 25 年度 10-12 期 観光消費額単価	26,815	20,461	3,653	4,721
	平成 22 年度比	58.0%	63.4%	50.0%	62.6%
	平成 22 年度 10-12 期 観光消費額単価	43,136	24,000	9,947	5,892

(注) 観光消費額単価には訪日外国人を含まない。

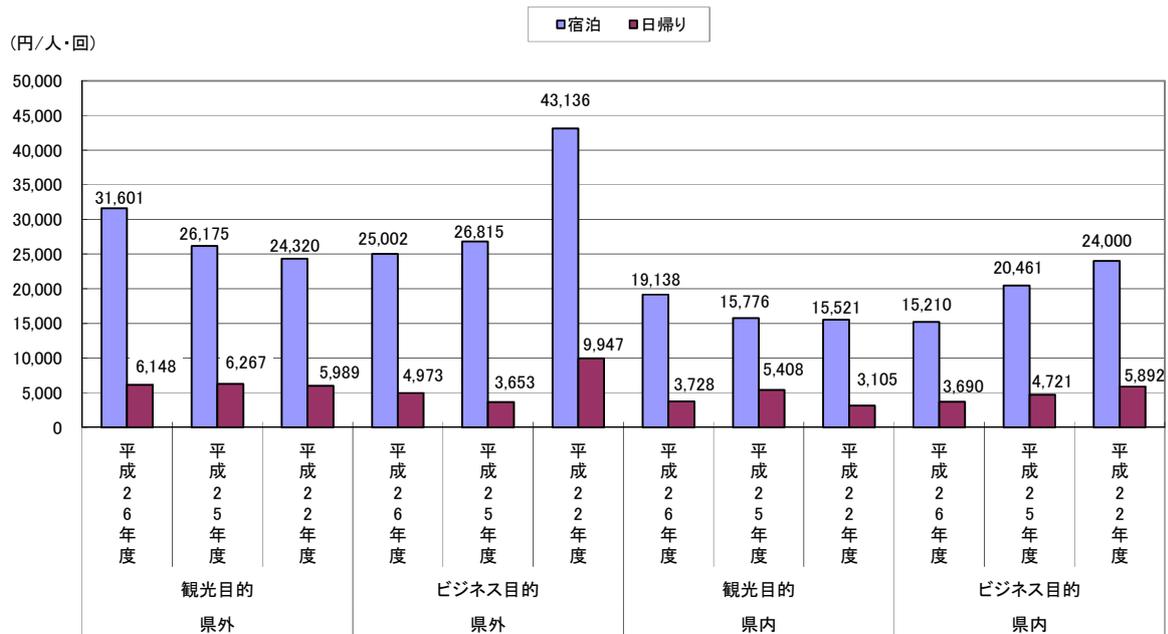


図9 日帰り宿泊別・県内県外別観光消費額単価

日帰り宿泊別・観光ビジネス別訪日外国人観光消費額単価は表9に示すとおりである。  
 観光消費額単価は、パラメータ調査での値であることから、訪日外国人観光消費額単価のようなサンプル数が少ない数値については、1回答者の金額の影響が大きく、時系列での比較が難しいことを付け加える。

表9 日帰り宿泊別・観光ビジネス別 訪日外国人観光消費額単価

単位：円／人・回

推計項目	宿泊		日帰り	
	観光	ビジネス	観光	ビジネス
平成26年度10-12期 観光消費額単価	56,051	111,764	15,190	11,086
平成25年度比	94.1%	156.9%	103.0%	104.9%
平成25年度10-12期 観光消費額単価	59,576	71,241	14,750	10,573
平成22年度比	127.2%	90.9%	187.3%	136.7%
平成22年度10-12期 観光消費額単価	44,060	122,981	8,109	8,109

## ② 観光消費額（日帰り宿泊別・県内県外別）

日帰り宿泊別・県内県外別観光消費額は表 10 及び図 10 に示すとおりである。

日帰り宿泊別・県内県外別観光消費額の総額は対前年度比 103.5%であった。宿泊及び日帰り別では、宿泊は前年度を上回るものの、日帰りは前年度を下回っている。要因として、日帰りの消費額単価が前年度より減少したことから、観光消費額が前年度を下回る結果となった。

一方、ビジネス目的観光消費額は、パラメータ調査の消費額単価に、表 6-1 に示した入込観光客を掛け合わせた金額であることから、ビジネス目的の入込客のようなサンプル数が少ない数値については、1 回答者の金額の影響が大きく、割合の増減も大きくなると考えられる。

表 10 日帰り宿泊別・県内県外別観光消費額

単位：百万円

推計項目	宿泊			日帰り			総額	
	宿泊 総数	県外	県内	日帰り 総数	県外	県内		
観光目的	平成 26 年度 10-12 期 観光消費額	17,986	12,712	5,274	4,189	2,335	1,854	22,175
	平成 25 年度比	114.6%	117.5%	108.2%	82.8%	85.6%	79.5%	106.9%
	平成 25 年度 10-12 期 観光消費額	15,689	10,815	4,874	5,059	2,728	2,331	20,748
	平成 22 年度比	119.2%	134.2%	93.9%	53.1%	53.6%	52.6%	96.5%
	平成 22 年度 10-12 期 観光消費額	15,090	9,471	5,619	7,886	4,358	3,528	22,976
ビジネス目的	平成 26 年度 10-12 期 観光消費額	12,173	8,447	3,726	1,177	1,156	21	13,350
	平成 25 年度比	95.7%	99.2%	88.8%	136.4%	137.0%	110.5%	98.3%
	平成 25 年度 10-12 期 観光消費額	12,714	8,518	4,196	863	844	19	13,577
	平成 22 年度比	89.7%	80.0%	123.8%	243.7%	971.4%	5.8%	95.0%
	平成 22 年度 10-12 期 観光消費額	13,574	10,565	3,009	483	119	364	14,057
合計	平成 26 年度 10-12 期 観光消費額	30,159	21,159	9,000	5,366	3,491	1,875	35,525
	平成 25 年度比	106.2%	109.4%	99.2%	90.6%	97.7%	79.8%	103.5%
	平成 25 年度 10-12 期 観光消費額	28,403	19,333	9,070	5,922	3,572	2,350	34,325
	平成 22 年度比	105.2%	105.6%	104.3%	64.1%	78.0%	48.2%	95.9%
	平成 22 年度 10-12 期 観光消費額	28,664	20,036	8,628	8,369	4,477	3,892	37,033

(注) 観光消費額には訪日外国人を含まない。

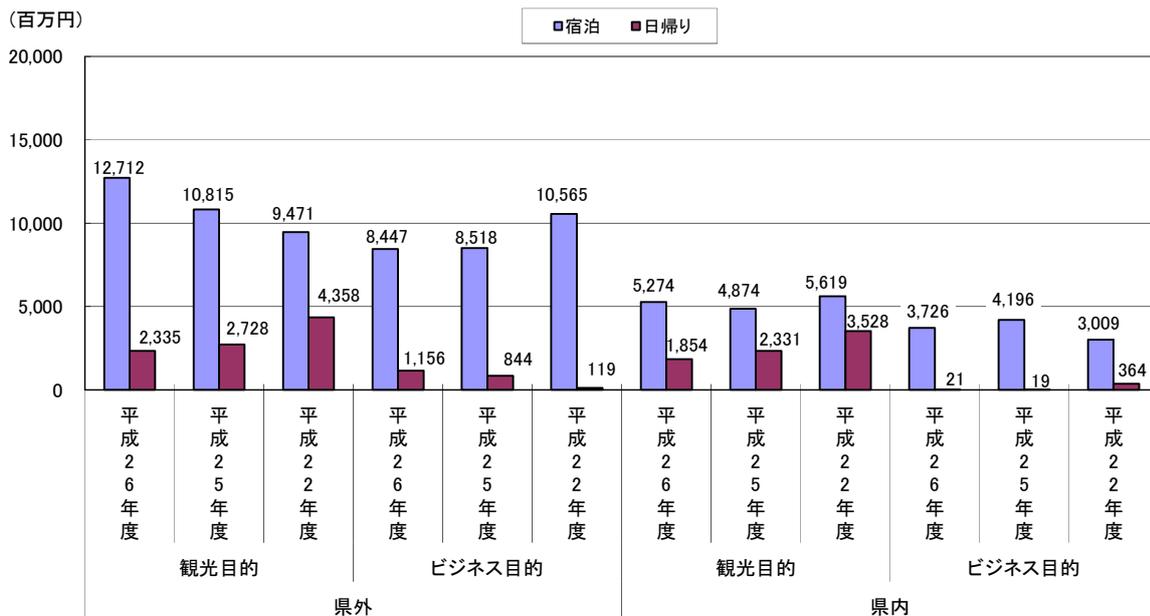


図 10 日帰り宿泊別・県内県外観光消費額

日帰り宿泊別・観光ビジネス別 訪日外国人観光消費額は表 11 に示すとおりである。  
 訪日外国人の観光消費額の総額は、平成 25 年度比 126.5%、平成 22 年度比 58.3%である。  
 一方、観光消費額は、パラメータ調査の消費額単価に、表 7 に示した入込観光客を掛け合わせた金額であることから、訪日外国人のようなサンプル数が少ない数値については、時系列での比較が難しいと考えられる。

表 11 日帰り宿泊別・観光ビジネス別 訪日外国人観光消費額

単位：百万円

推計項目	宿泊			日帰り			総額
	宿泊総額	観光	ビジネス	日帰り総額	観光	ビジネス	
平成 26 年度 10-12 期 観光消費額	859	514	345	-	-	-	859
平成 25 年度比	126.5%	105.1%	181.6%	-	-	-	126.5%
平成 25 年度 10-12 期 観光消費額	679	489	190	-	-	-	679
平成 22 年度比	58.3%	50.3%	76.3%	-	-	-	58.3%
平成 22 年度 10-12 期 観光消費額	1,474	1,022	452	-	-	-	1,474

## 第2部 観光地点パラメータ調査結果から見る観光客の動向分析

### 1. 調査概要

今回実施した観光地点を対象としたアンケート調査の概要は以下のとおりである。

[調査実施時期] 平成26年10～11月

[調査地点] 下記のとおり、岩手県内の観光地点10ヶ所を実施

[調査内容] 観光の目的、訪問（予定）観光地点、交通手段、滞在日数、旅行予算など観光に係る項目

[調査票回収件数] 862件

調査地点別の回収件数、旅行人数は以下のとおりである。

表 12 アンケート調査票件数、旅行人数（調査地点別）

調査地点	調査実施時期				
	市町村名	地域名	調査実施日	調査票回収件数	旅行人数 (本人含む)
小岩井農場	雫石町	県央地域	11/1	85	472
盛岡手づくり村	盛岡市	県央地域	11/2	74	401
道の駅にしね	八幡平市	県央地域	11/3	81	317
平泉（中尊寺）	平泉町	県南地域	11/8	97	441
道の駅遠野風の丘	遠野市	県南地域	10/25	79	534
えさし藤原の郷	奥州市	県南地域	10/26	99	576
道の駅くじ「やませ土風館」	久慈市	県北地域	11/8, 11/9	62	407
なにゃーと物産センター	二戸市	県北地域	11/2, 11/3	118	359
浄土ヶ浜	宮古市	沿岸地域	11/8, 11/9	95	388
碁石海岸	大船渡市	沿岸地域	11/1, 11/2	72	427
合計				862	4,322

今回実施したアンケート調査結果を集計した結果について、次頁以降において説明する。

## 2. 観光客の動向分析

### (1) 問1 住まいの地域

問1は、来訪者の住まいの地域に関する設問である。問1の結果を集計しグラフ化したものが、図11である。

この結果、アンケート調査回答者の約4割(41.5%)は岩手県内からの来訪者であり、岩手県外からの来訪者は約6割(58.5%)である。

なお、海外からの来訪者は1人(0.2%)であった。

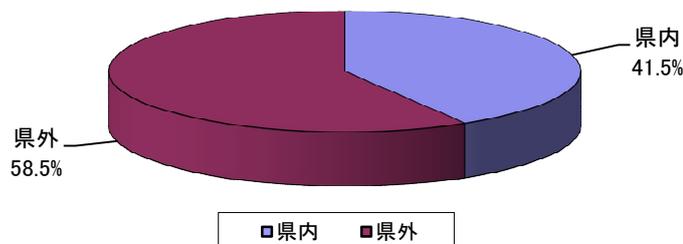


図11 地域別・分類別入込割合(延べ人数から算出)

岩手県外からの来訪者について都道府県別に旅行人数を集計し、グラフ化したものが図12である。

県外客で最も人数が多いのは青森県(20.8%)、次いで宮城県(19.0%)、秋田県(9.9%)、東京都(6.9%)であり、これらの4都県で5割以上(56.6%)を占めている。

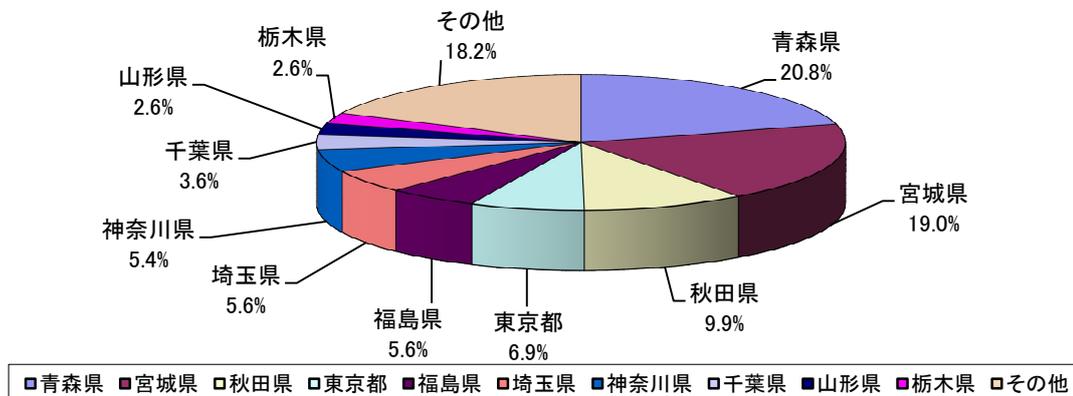


図12 県外客の住まいの地域(岩手県及び来訪者0人の都道府県を除く)

表13 各県当たり観光客数および比率(岩手県及び来訪者0人の県を除く)

青森県	宮城県	秋田県	東京都	福島県	埼玉県	神奈川	千葉県	山形県	栃木県	茨城県	新潟県	大阪府
105	96	50	35	28	28	27	18	13	13	12	12	11
20.8%	19.0%	9.9%	6.9%	5.6%	5.6%	5.4%	3.6%	2.6%	2.6%	2.4%	2.4%	2.2%
静岡県	北海道	兵庫県	愛知県	山梨県	長野県	奈良県	岐阜県	三重県	滋賀県	広島県	福岡県	群馬県
8	7	6	4	3	3	3	2	2	2	2	2	1
1.6%	1.4%	1.2%	0.8%	0.6%	0.6%	0.6%	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%	0.2%
富山県	石川県	島根県	岡山県	徳島県	香川県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島	海外		
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%		

## (2) 問2 性別・年代

問2は、来訪者の性別、年代に関する設問である。

性別を集計しグラフ化したのが図13である。この図より、性別の構成をみると男性が多い(56.4%)状況であった。

また、年代構成を集計しグラフ化したのが図14である。この図より、岩手県外来訪者は「60歳代」が最も多いことがわかる(岩手県外：24.2%)。また、岩手県内、岩手県外来訪者のいずれも、40歳代以上が全来訪者の半数以上となった。(岩手県内：62.0%、岩手県外：67.2%)

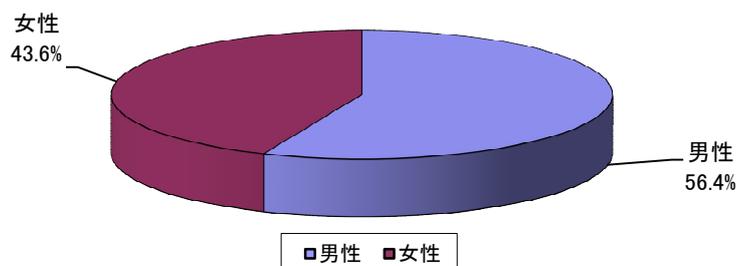
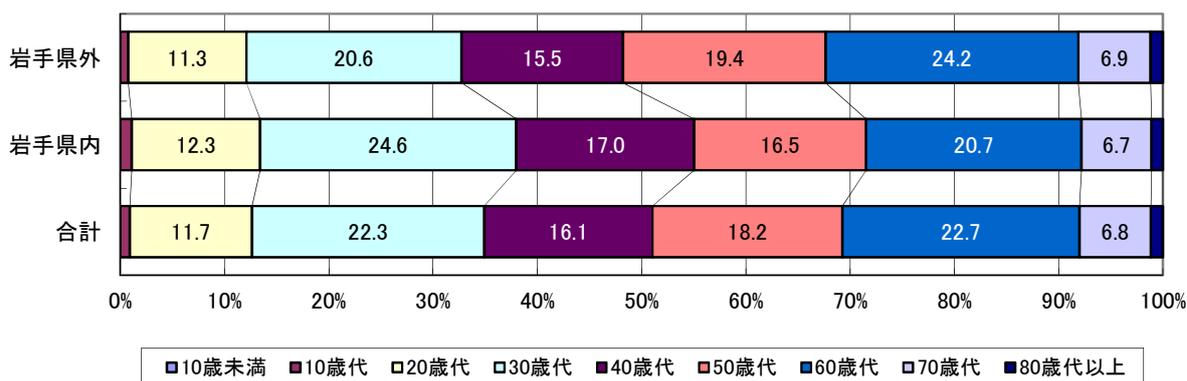


図13 来訪者の性別



	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
合計	0.0%	0.9%	11.7%	22.3%	16.1%	18.2%	22.7%	6.8%	1.2%
岩手県内	0.0%	1.1%	12.3%	24.6%	17.0%	16.5%	20.7%	6.7%	1.1%
岩手県外	0.0%	0.8%	11.3%	20.6%	15.5%	19.4%	24.2%	6.9%	1.2%

図14 岩手県内/外来訪者の年代構成(比率)

### (3) 問3 宿泊形態および宿泊数

問3は、旅行の日帰り・宿泊の区分、および県内の宿泊に関する設問である。本設問の回答結果を、日帰り・宿泊の区分別に集計しグラフ化したのが図15である。

来訪者の宿泊形態は日帰り（54.9%）と宿泊（45.1%）であった。

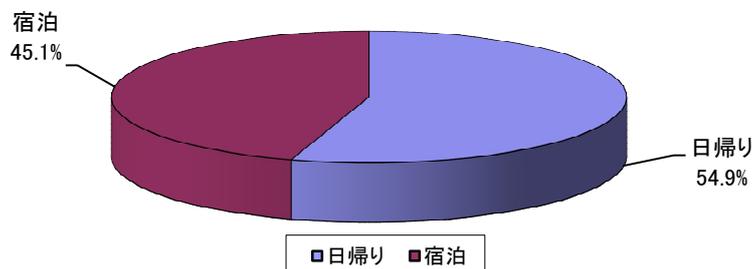


図15 来訪者の宿泊形態

来訪者の全日程及び岩手県内における宿泊日数を集計しグラフ化したのが図16、17である。

宿泊客全体（県外宿泊も含む）の宿泊日数は「1日」が最も多く、全体の約6割（62.2%）を占めている。なお、岩手県内宿泊数では、宿泊日数「1日」の割合が7割以上であった。（72.3%）

※宿泊数平均 1.7(泊) 県内宿泊数平均 1.3(泊)

また、利用した岩手県内の宿泊施設の種類数を集計しグラフ化したのが図18である。

この図より、岩手県内の宿泊者の約9割（93.3%）は、宿泊施設の種類数は「1種類」であった。

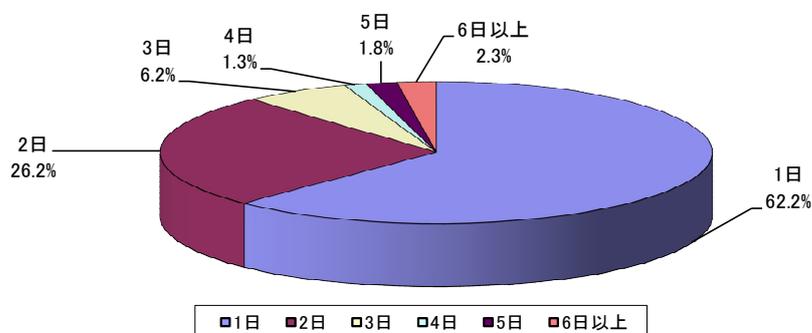


図16 宿泊数（全日程）

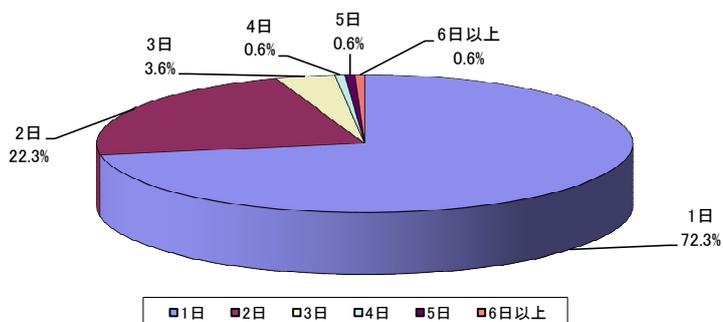


図17 岩手県内宿泊数

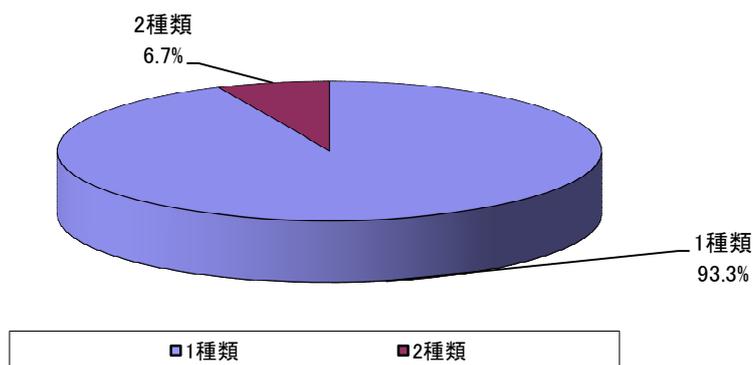


図 18 岩手県内宿泊施設数

利用した県内の宿泊施設の種類を集計しグラフ化したのが図 19 である。県内宿泊者が利用する宿泊施設の種類は「ホテル」(58.0%)が最も多く、次いで「実家や知人・親戚宅」(16.7%)、である。次いで、「旅館」(16.2%)であり、これら以外の宿泊施設利用は 9.2%であった。

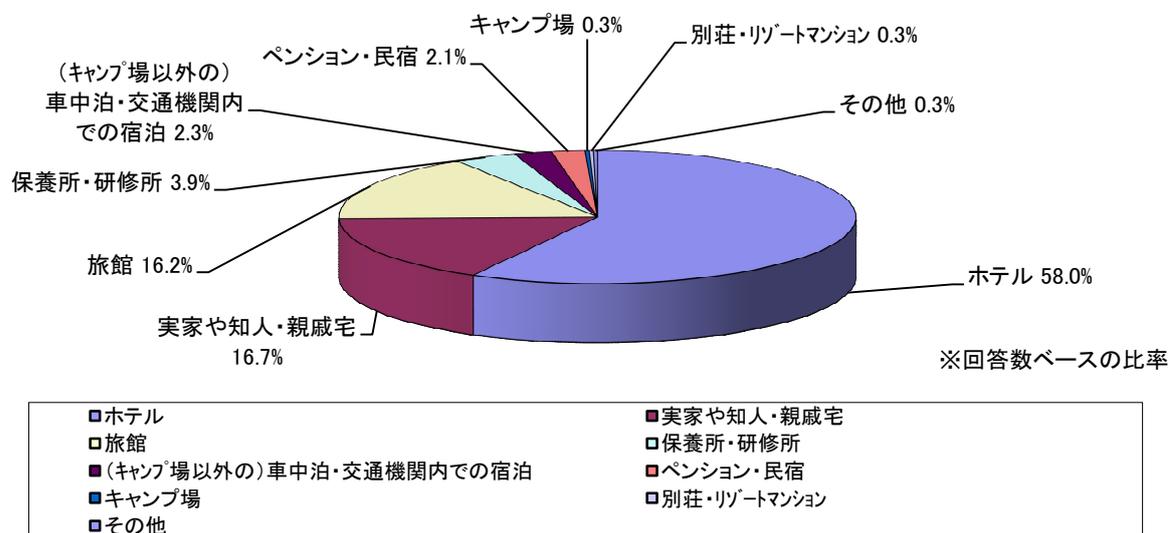


図 19 宿泊施設の種類

表 14 宿泊施設の内訳

ホテル	実家や知人・親戚宅	旅館	保養所・研修所	(キャンプ場以外の)車中泊・交通機関内での宿泊
58.0%	16.7%	16.2%	3.9%	2.3%
222 人	64 人	62 人	15 人	9 人
ペンション・民宿	キャンプ場	別荘・リゾートマンション	その他	
2.1%	0.3%	0.3%	0.3%	
8 人	1 人	1 人	1 人	

#### (4) 問4 訪問の目的

問4は、訪問の目的に関する設問である。

本設問の結果を集計しグラフ化したのが図20である。訪問の目的は「観光」が約8割を占めており（80.4%）、次いで「帰省・知人訪問」（7.7%）、「ビジネス」（2.3%）である。

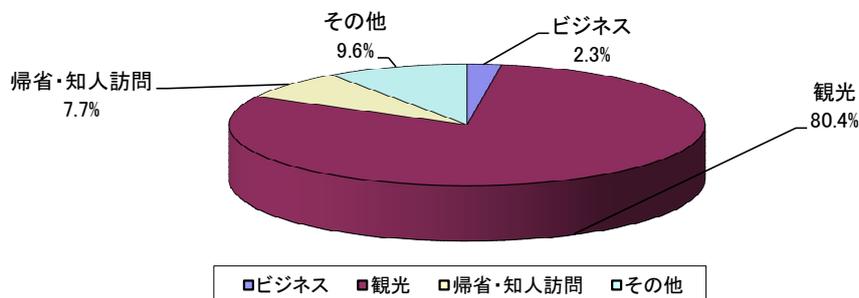


図20 訪問の目的

#### (5) 問5 旅行人数、同行者のタイプ

問5は、旅行人数および同行者のタイプに関する設問である。

「旅行人数」別に集計しその回答比率をグラフ化したのが図21である。旅行人数が最も多かったのは「2人」（40.4%）であり、次いで「4人」（17.2%）、「3人」（15.2%）であった。

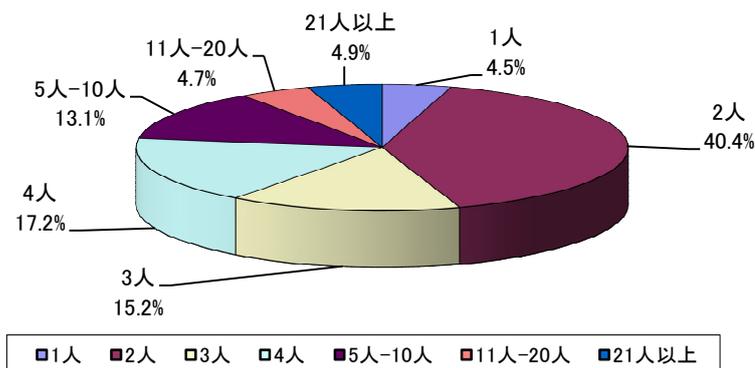


図21 旅行人数

同行者のタイプ別に集計しその回答比率をグラフ化したのが図22である。同行者のタイプとして最も多いのは「家族」（71.1%）で、回答者全体の7割強を占めた。次いで「友人」（15.7%）、「職場・学校等の団体旅行」（6.3%）である。

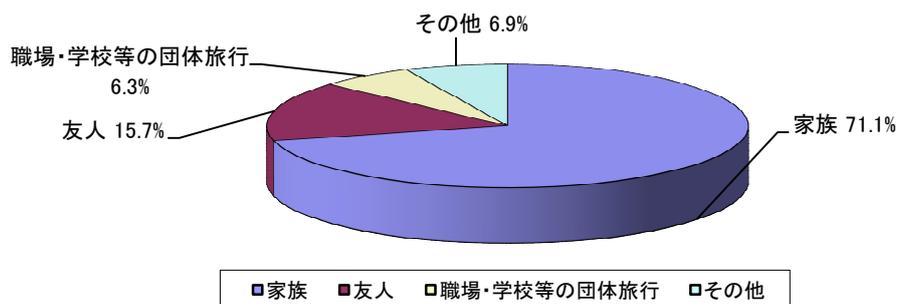


図22 同行者のタイプ

### (6) 問6 観光地訪問の認知、回数

問6は、岩手県内観光地への訪問経験の認知に関する設問である。

調査地点とした観光地への訪問の認知度については、全来訪者のうち約9割（87.1%）が「知っている」と回答した。

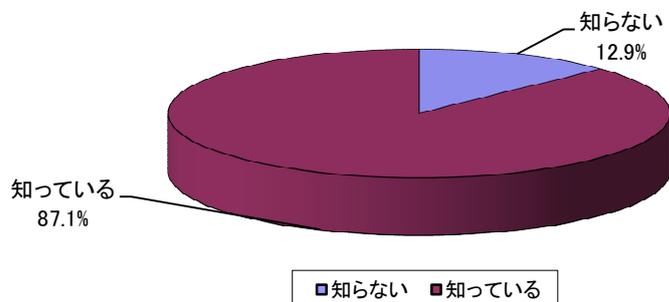


図23 観光地訪問の認知

### (7) 問7 岩手県訪問の認知、回数（岩手県外の方のみ対象の設問）

問7は岩手県外からの来訪者を対象にした、岩手県への訪問の認知及び回数に関する設問である。

岩手県への訪問の認知を質問したところ、8割強（83.5%）の来訪者が「知っている」と回答した。

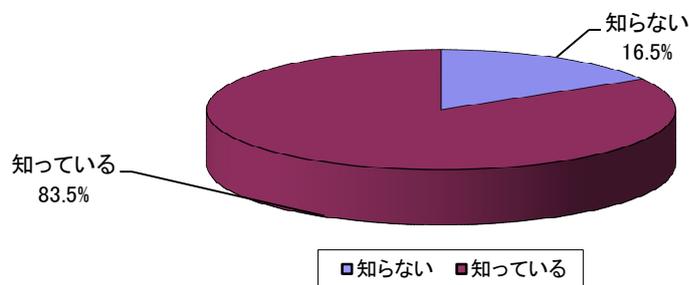


図24 岩手県訪問の認知（岩手県外来訪者）

## (8) 問8 観光地への交通機関及び立寄り観光地

### <観光地への交通機関>

問8は、岩手県への来県や観光地への訪問で利用した交通機関、および訪問やその予定のある岩手県内観光地やその他立ち寄り都道府県に関する設問である。

調査地点である観光地へ来訪する際に利用した交通機関を集計しグラフ化したものが図25である。

この図より、最も多く利用されているのが「自家用車、社用・公用車」(77.5%)であり、次いで「JR新幹線」(10.8%)、「貸切バス・観光バス」(5.6%)であった。この上位3位で全体の約9割(93.9%)を占めている。

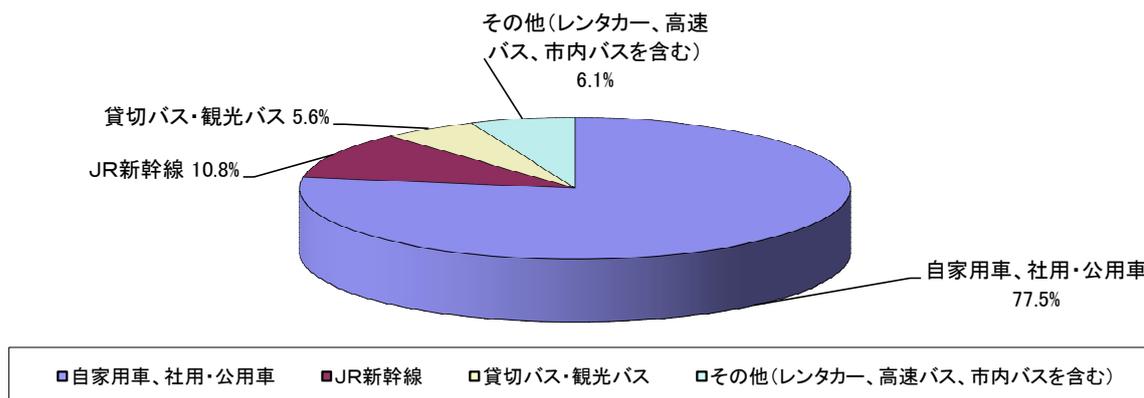


図25 観光地点への交通機関

表15 観光地点への交通機関内訳(比率)

自家用車、社用・公用車	J R新幹線	貸切バス・観光バス	その他
77.5%	10.8%	5.6%	4.2%
レンタカー	高速バス	市内バス	JR 在来線
1.0%	0.8%	0.1%	0.0%
私鉄・地下鉄	タクシー・ハイヤー	モノレール	市内電車
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(9) 問9 今回の旅行費用について

問9は、今回の旅行費用に関する設問である。

1人当たりの岩手県内における交通費を集計しグラフ化したものが図26、27であり、岩手県外における交通費を集計したグラフが図28、29である。

岩手県内の交通費においては、来訪者全体の約7割（70.3%）が「2,000円未満」となっているが、県内からの来訪者がこの価格帯の約9割（87.4%）を占めているのに対し、県外からの来訪者は5割強（58.1%）にとどまり、約4割（41.9%）は2,000円以上を支出している。

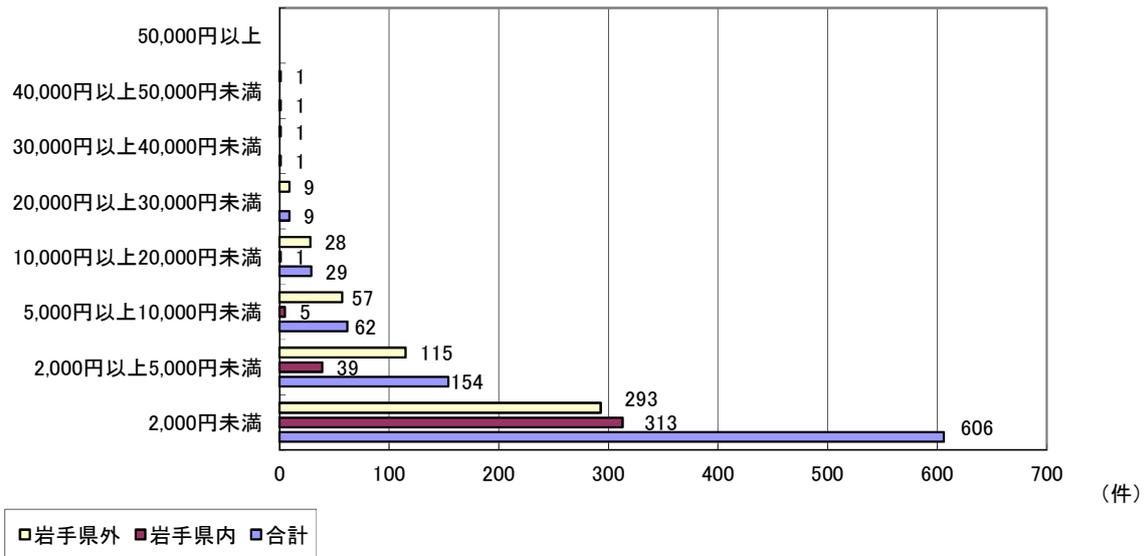
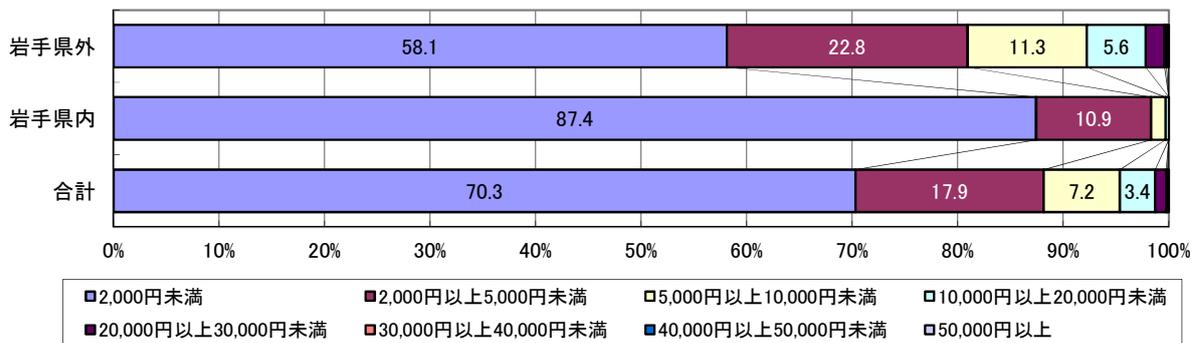


図26 岩手県内／外旅行費用の比較（岩手県内交通費・件数）



	2,000円未満	2,000円以上 5,000円未満	5,000円以上 10,000円未満	10,000円以上 20,000円未満	20,000円以上 30,000円未満	30,000円以上 40,000円未満	40,000円以上 50,000円未満	50,000円以上
合計	70.3%	17.9%	7.2%	3.4%	1.0%	0.1%	0.1%	0.0%
岩手県内	87.4%	10.9%	1.4%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
岩手県外	58.1%	22.8%	11.3%	5.6%	1.8%	0.2%	0.2%	0.0%

図27 岩手県内／外旅行費用の比較（岩手県内交通費・比率）

岩手県外の交通費においては、来訪者全体の約5割（57.4%）が「1,000円未満」となっている。県内からの来訪者ではこの価格帯で9割以上（99.2%）を占めるものの、県外からの来訪者では3割弱（27.8%）となっている。県内からの来訪者の多くが岩手県内のみの旅程であることが窺える。

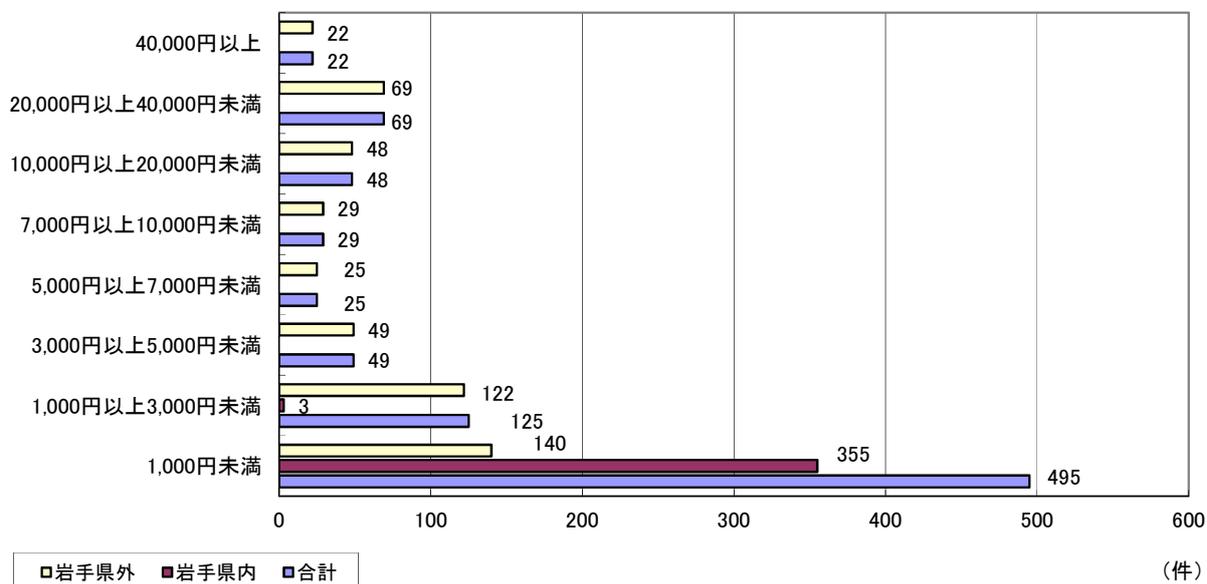
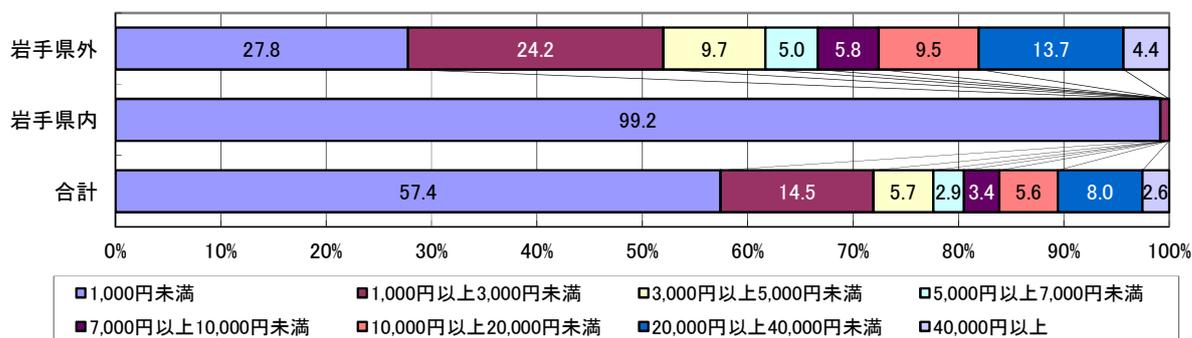


図28 岩手県内／外交通費比較（岩手県外・件数）



	1,000円未満	1,000円以上3,000円未満	3,000円以上5,000円未満	5,000円以上7,000円未満	7,000円以上10,000円未満	10,000円以上20,000円未満	20,000円以上40,000円未満	40,000円以上
合計	57.4%	14.5%	5.7%	2.9%	3.4%	5.6%	8.0%	2.6%
岩手県内	99.2%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
岩手県外	27.8%	24.2%	9.7%	5.0%	5.8%	9.5%	13.7%	4.4%

図29 岩手県内／外交通費比較（岩手県外・比率）

本設問より、1人当たりの岩手県内における宿泊費を集計しグラフ化したものが図30、31である。

宿泊費を県内・県外の来訪者別に比較すると、双方とも「1,000円未満」が最も多い。これは全来訪者のうち日帰りの割合が約5割（54.9%）を占めていることに所由する。

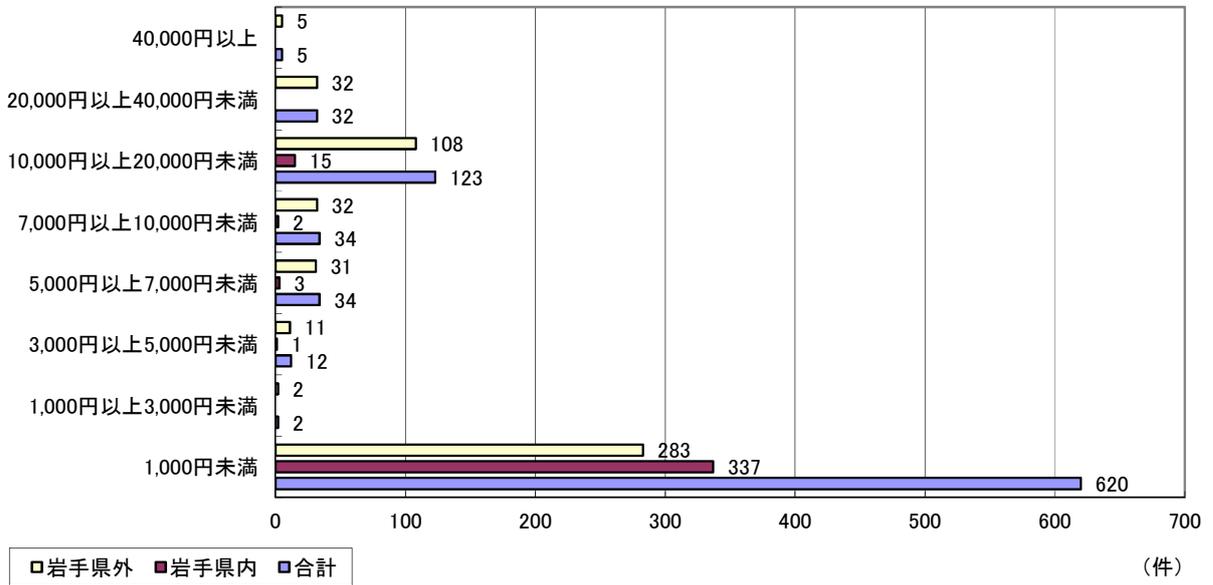
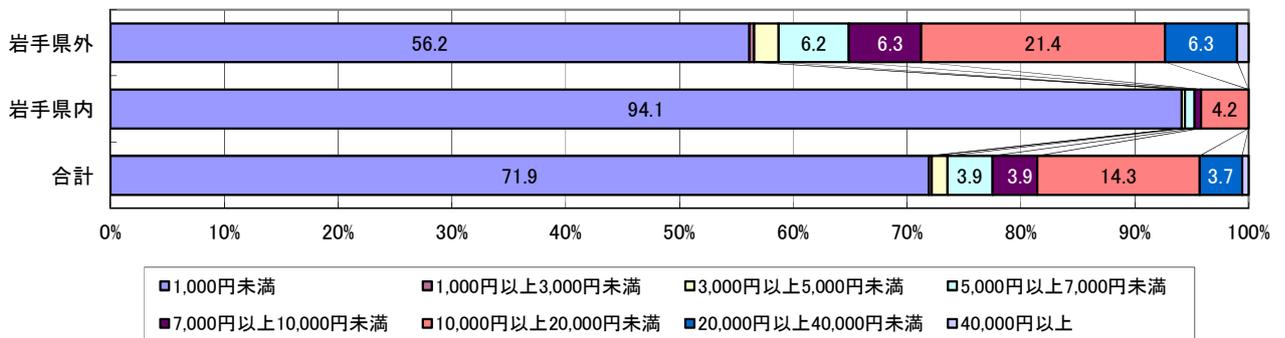


図30 岩手県内／外宿泊費比較（岩手県内・件数）



	1,000円未満	1,000円以上 3,000円未満	3,000円以上 5,000円未満	5,000円以上 7,000円未満	7,000円以上 10,000円未満	10,000円以上 20,000円未満	20,000円以上 40,000円未満	40,000円以上
合計	71.9%	0.2%	1.4%	3.9%	3.9%	14.3%	3.7%	0.6%
岩手県内	94.1%	0.0%	0.3%	0.8%	0.6%	4.2%	0.0%	0.0%
岩手県外	56.2%	0.4%	2.2%	6.2%	6.3%	21.4%	6.3%	1.0%

図31 岩手県内／外宿泊費比較（岩手県内・比率）

図30、図31で用いたデータより、日帰り来訪者及びパックツアー利用者を除いて再集計しグラフ化したものが、図30-1、図31-1である。

件数では「1,000円未満」と「10,000円以上20,000円未満」に2つのピークがあり、前者が約2割、後者が約4割であった。前者に関しては、宿泊施設の選択肢「実家や知人・親戚宅利用」の16.7%が影響しているものと思われる。

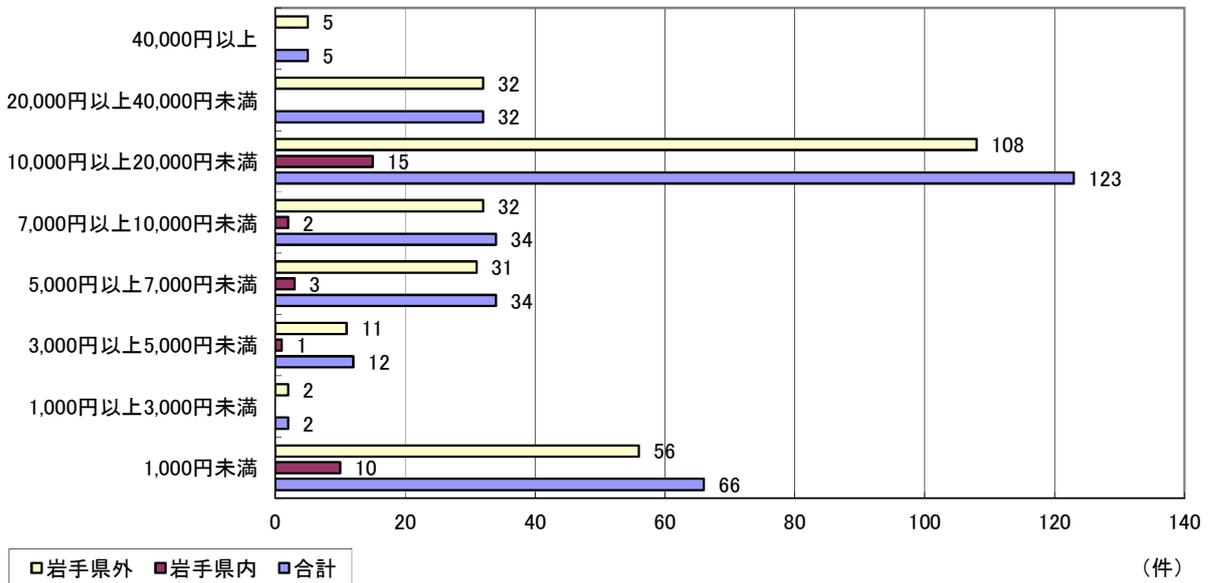
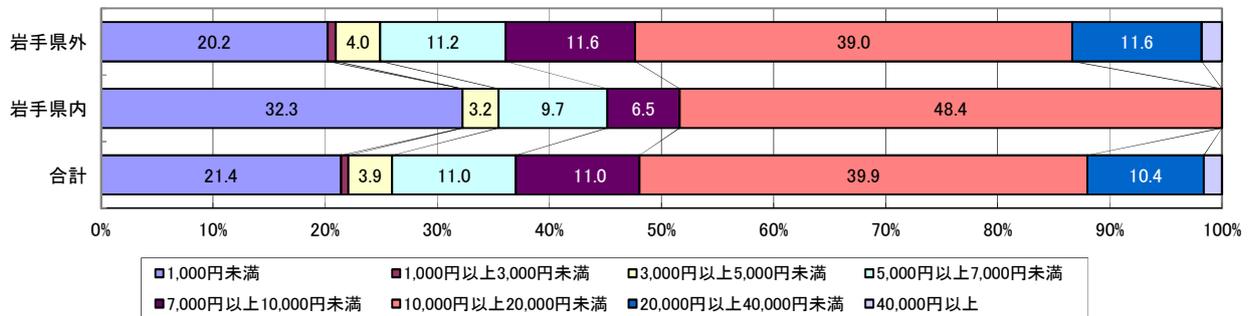


図30-1 岩手県内/外宿泊費比較 (岩手県内・件数 パックツアー利用者を除く宿泊者のみ)



	1,000円未満	1,000円以上3,000円未満	3,000円以上5,000円未満	5,000円以上7,000円未満	7,000円以上10,000円未満	10,000円以上20,000円未満	20,000円以上40,000円未満	40,000円以上
合計	21.4%	0.6%	3.9%	11.0%	11.0%	39.9%	10.4%	1.6%
岩手県内	32.3%	0.0%	3.2%	9.7%	6.5%	48.4%	0.0%	0.0%
岩手県外	20.2%	0.7%	4.0%	11.2%	11.6%	39.0%	11.6%	1.8%

図31-1 岩手県内/外宿泊費比較 (岩手県内・比率 パックツアー利用者を除く宿泊者のみ)

本設問より、1人当たりの土産代を集計しグラフ化したものが図32、33である。

この図より、1人当たりの土産代は、合計では「1,000円以上3,000円未満」が41.2%と最も多く、3,000円未満の内訳をみると、県内からの来訪者は約9割（91.6%）となり、県外からの来訪者は約6割（60.2%）にとどまっている。3,000円以上の価格帯を土産代で支出しているのは、その多くが県外来訪者であった（県内来訪者：8.4%、県外来訪者：39.9%）。

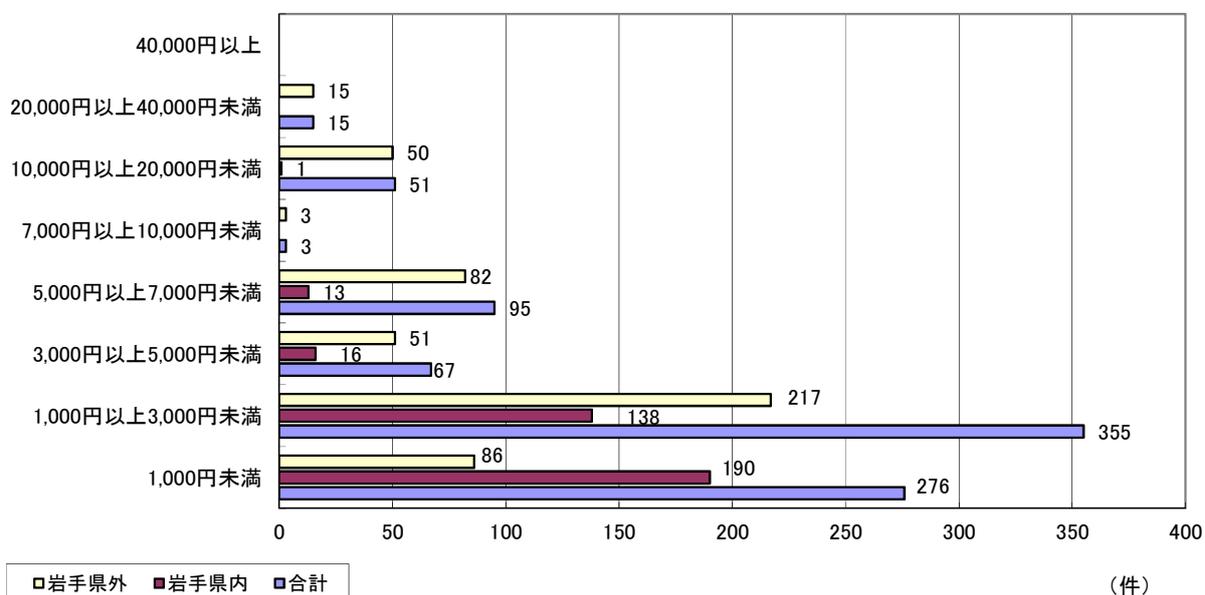


図32 岩手県内/外旅行費用の比較（土産代・件数）

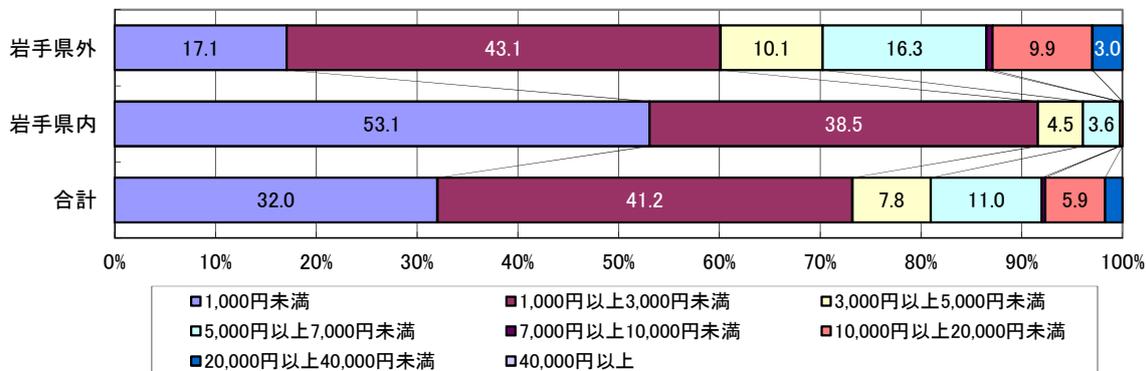


図33 岩手県内/外旅行費用の比較（土産代・比率）

本設問より、1人当たりの飲食費をグラフ化したものが図34、35である。

この図より、1人当たりの飲食費は、合計では「1,000円以上3,000円未満」が56.8%と最も多い。県内・県外の来訪者別で見ると、県内からの来訪者では「5,000円以上7,000円未満」がほぼ支出の上限であり、7,000円以上の価格帯では、県外からの来訪者のみであった（県内来訪者：0件、県外来訪者：46件）。

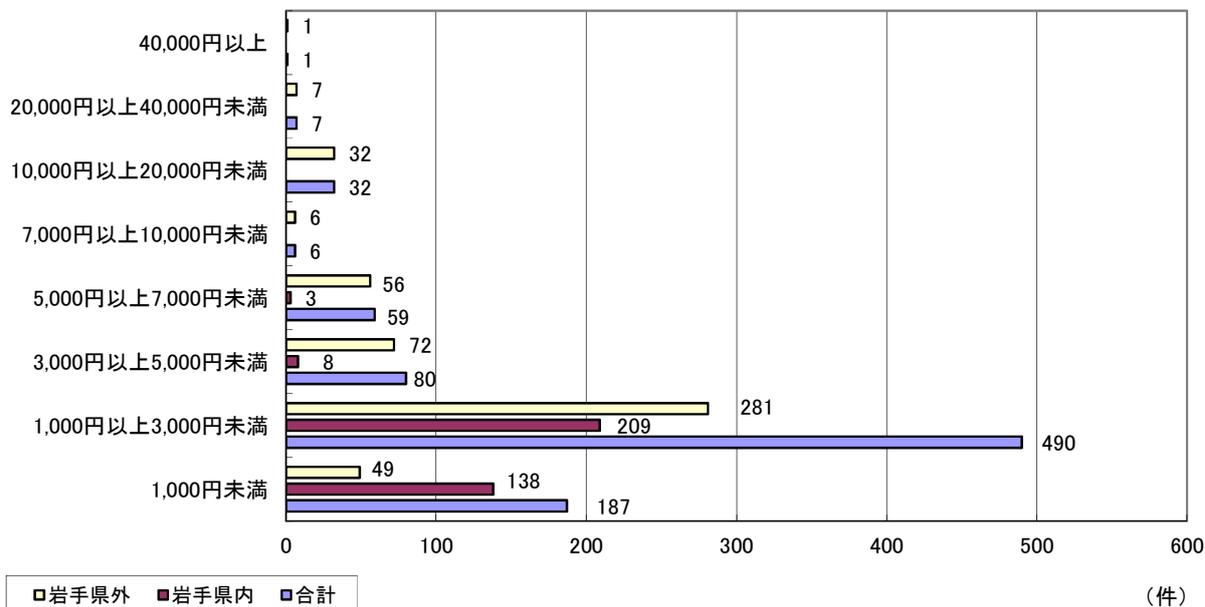


図34 岩手県内／外旅行費用の比較（飲食費・件数）

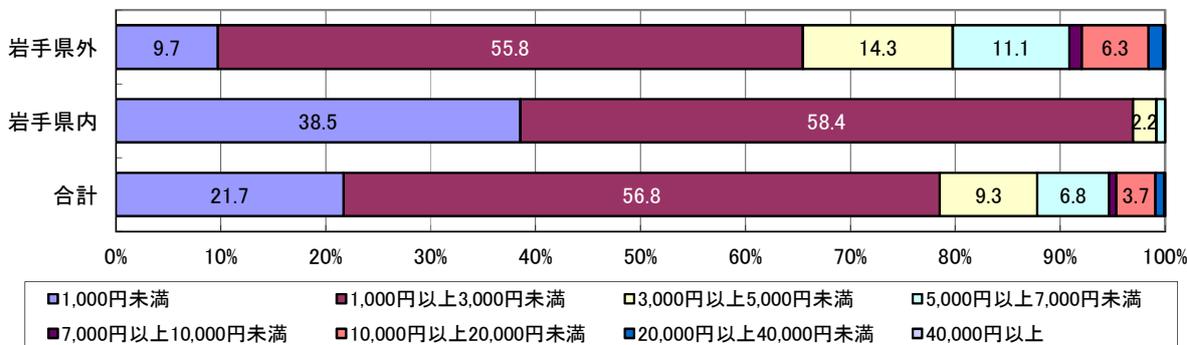


図35 岩手県内／外旅行費用の比較（飲食費・比率）

	1,000円未満	1,000円以上3,000円未満	3,000円以上5,000円未満	5,000円以上7,000円未満	7,000円以上10,000円未満	10,000円以上20,000円未満	20,000円以上40,000円未満	40,000円以上
合計	21.7%	56.8%	9.3%	6.8%	0.7%	3.7%	0.8%	0.1%
岩手県内	38.5%	58.4%	2.2%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
岩手県外	9.7%	55.8%	14.3%	11.1%	1.2%	6.3%	1.4%	0.2%

本設問より、1人当たりの入場料を集計しグラフ化したものが図36、37である。

この図より、1人当たりの入場料は、県内・県外とも「1,000円未満」が最も多く、県内・県外の来訪者ともに、3,000円未満の価格帯までで9割以上を占めている（県内来訪者：99.8%、県外来訪者：96.8%）。

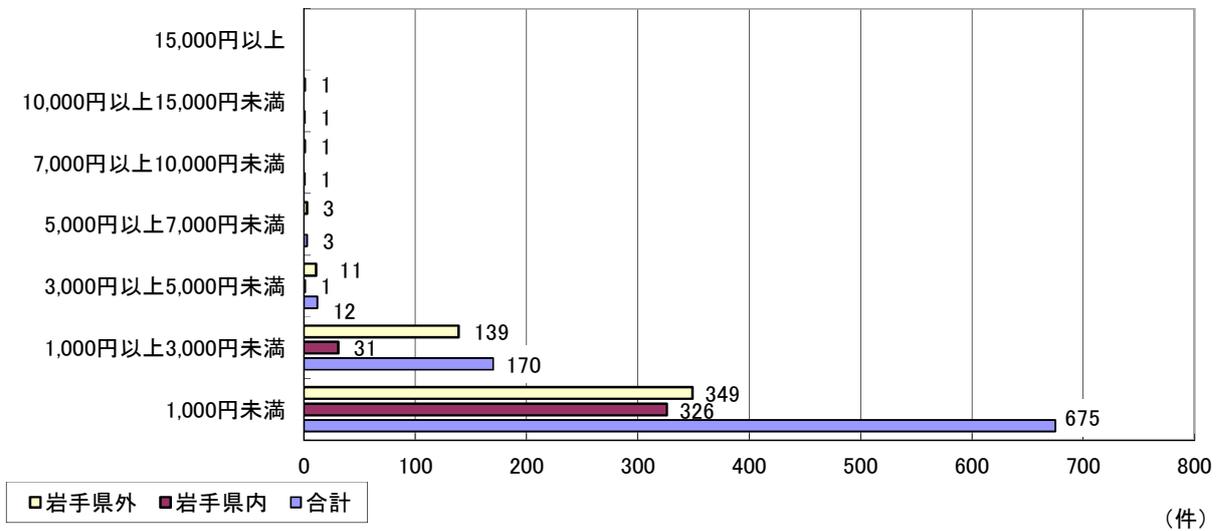
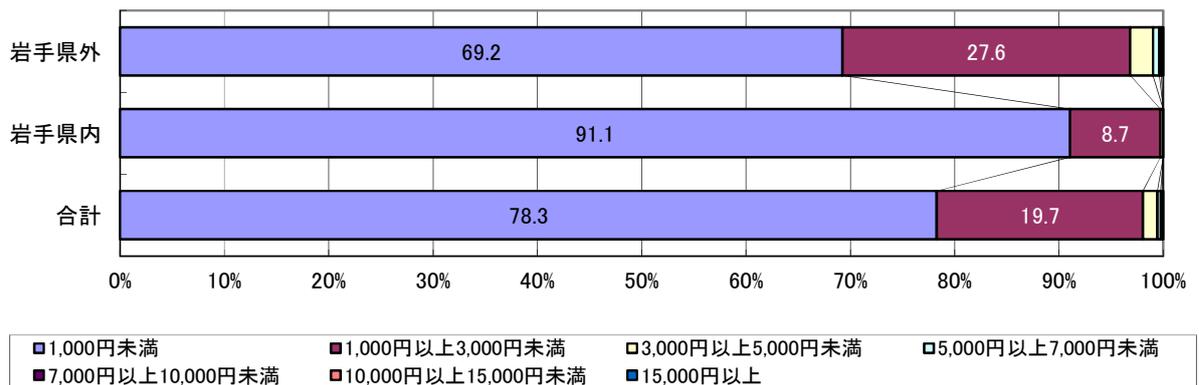


図36 岩手県内／外旅行費用の比較（入場料・件数）



	1,000円未満	1,000円以上3,000円未満	3,000円以上5,000円未満	5,000円以上7,000円未満	7,000円以上10,000円未満	10,000円以上15,000円未満	15,000円以上
合計	78.3%	19.7%	1.4%	0.3%	0.1%	0.1%	0.0%
岩手県内	91.1%	8.7%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
岩手県外	69.2%	27.6%	2.2%	0.6%	0.2%	0.2%	0.0%

図37 岩手県内／外旅行費用の比較（入場料・比率）

本設問より、1人当たりのその他費用を集計しグラフ化したものが図38、39である。

この図より、1人当たりのその他費用は、合計では「1,000円未満」が99.3%と、約10割を占めている。

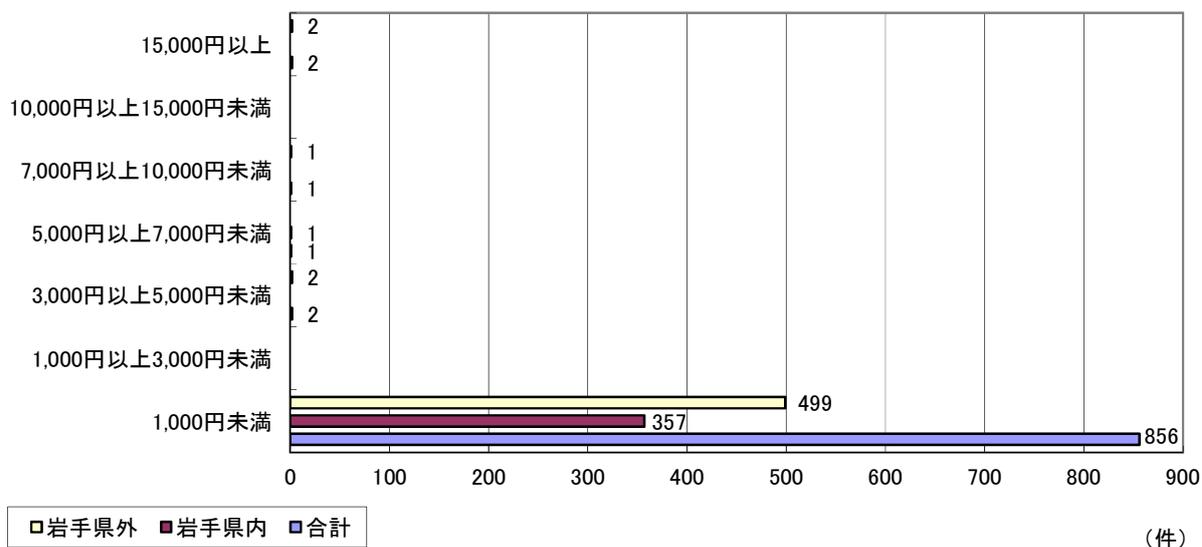
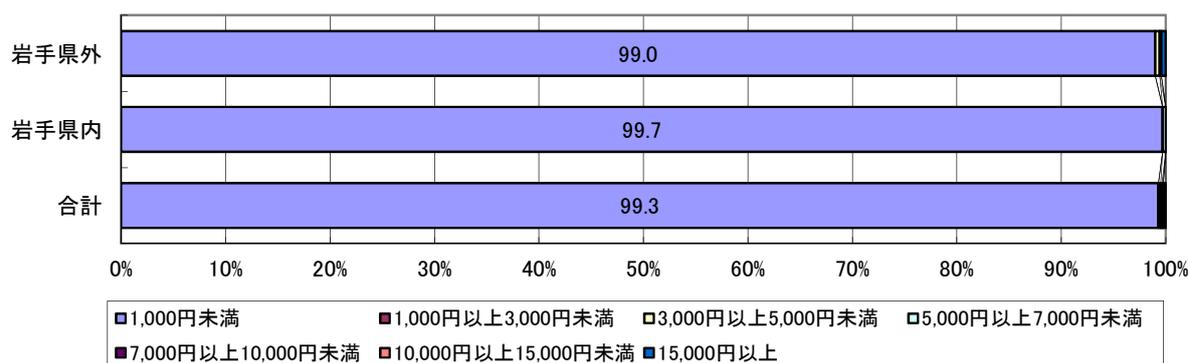


図38 岩手県内／外旅行費用の比較（その他費用・件数）



	1,000円未満	1,000円以上3,000円未満	3,000円以上5,000円未満	5,000円以上7,000円未満	7,000円以上10,000円未満	10,000円以上15,000円未満	15,000円以上
合計	99.3%	0.0%	0.2%	0.1%	0.1%	0.0%	0.2%
岩手県内	99.7%	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%
岩手県外	99.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.2%	0.0%	0.4%

図39 岩手県内／外旅行費用の比較（その他費用・比率）

本設問より、1人当たりのパック料金を集計しグラフ化したものが図40、41である。  
この図より、1人当たりのパック料金は、合計では「1,000円未満」が約9割（91.3%）であるが、これはパックツアーを利用しなかった来訪者が多いことに所因する。

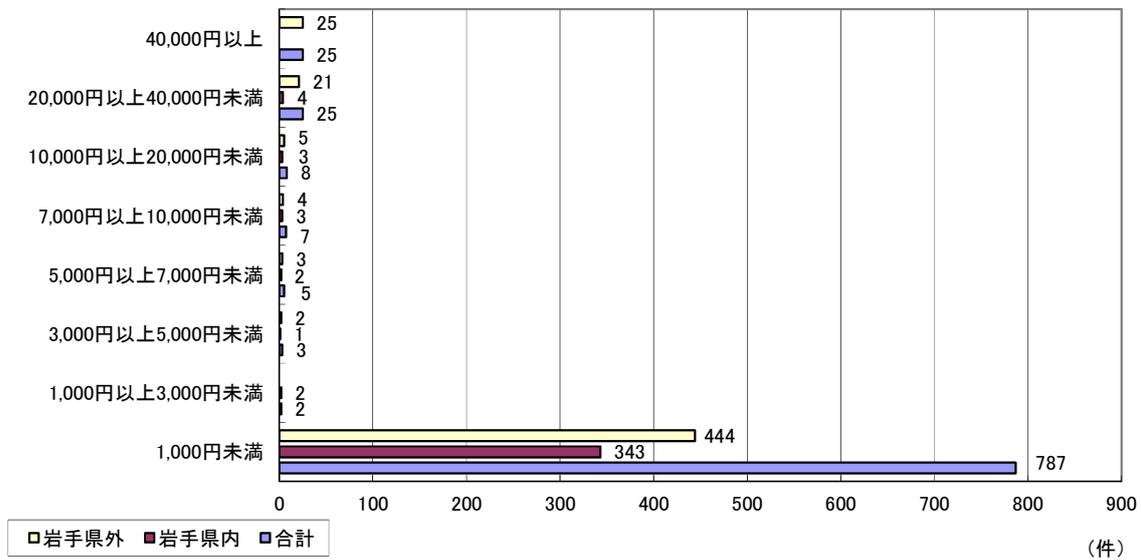
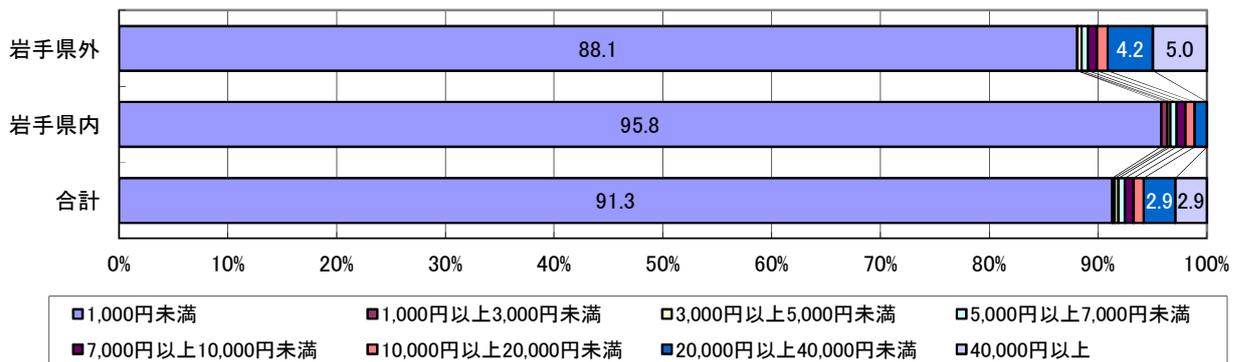


図40 岩手県内／外旅行費用の比較（パック料金・件数）



	1,000円未満	1,000円以上3,000円未満	3,000円以上5,000円未満	5,000円以上7,000円未満	7,000円以上10,000円未満	10,000円以上20,000円未満	20,000円以上40,000円未満	40,000円以上
合計	91.3%	0.2%	0.3%	0.6%	0.8%	0.9%	2.9%	2.9%
岩手県内	95.8%	0.6%	0.3%	0.6%	0.8%	0.8%	1.1%	0.0%
岩手県外	88.1%	0.0%	0.4%	0.6%	0.8%	1.0%	4.2%	5.0%

図41 岩手県内／外旅行費用の比較（パック料金・比率）

図40、図41で用いたデータより、パックツアーを利用した来訪者のみに対して再集計グラフ化したものが、図40-1、図41-1である。

比率を見ると、県内からの来訪者では 10,000円未満が5割（53.3%）であるが、県外からの来訪者では10,000円以上が85.0%を占める。また、パックツアー利用者の合計件数においては、県外からの来訪者が県内からの来訪者の4倍であった（県内来訪者：15件、県外来訪者：60件）。

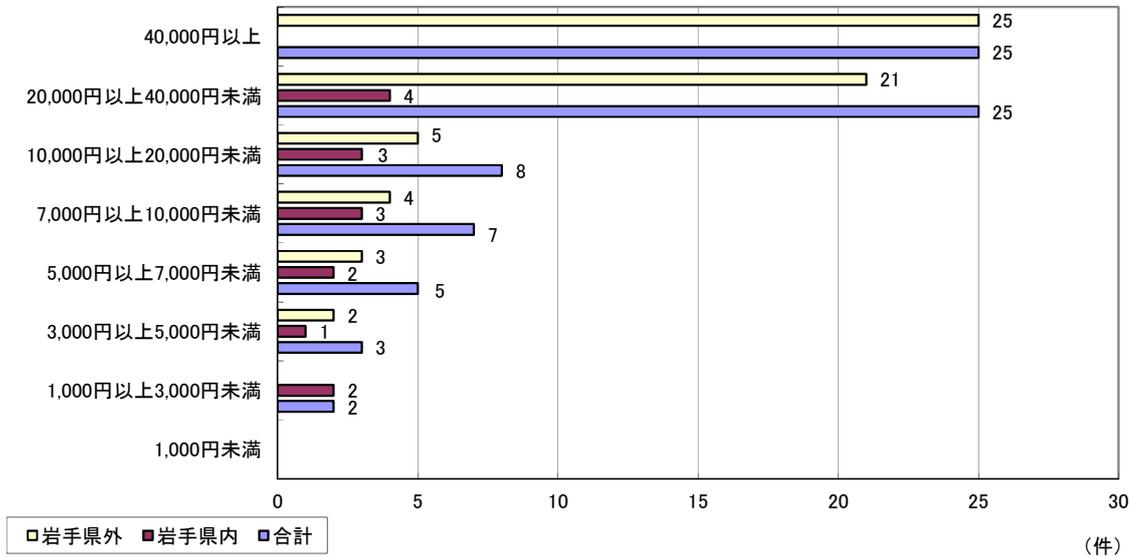
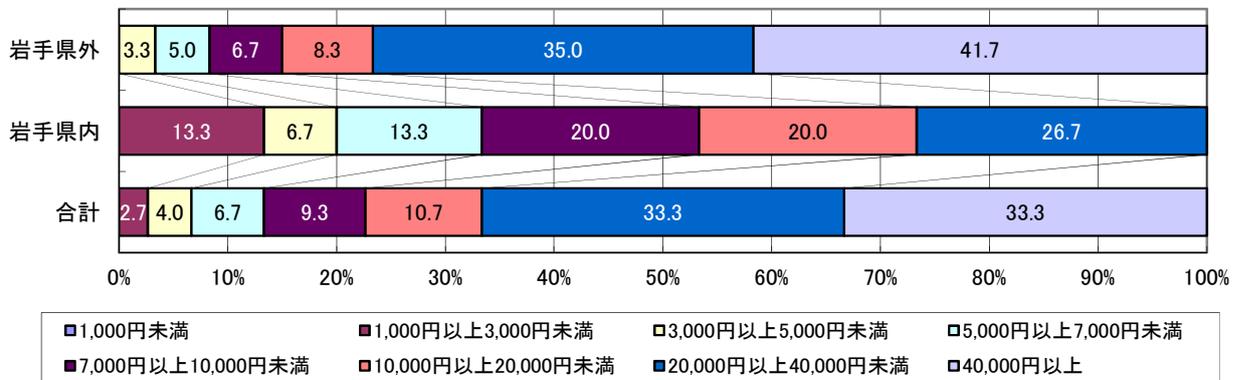


図40-1 岩手県内／外旅行費用の比較（パック料金・件数 パックツアー利用者のみ）



	1,000円未満	1,000円以上3,000円未満	3,000円以上5,000円未満	5,000円以上7,000円未満	7,000円以上10,000円未満	10,000円以上20,000円未満	20,000円以上40,000円未満	40,000円以上
合計	0.0%	2.7%	4.0%	6.7%	9.3%	10.7%	33.3%	33.3%
岩手県内	0.0%	13.3%	6.7%	13.3%	20.0%	20.0%	26.7%	0.0%
岩手県外	0.0%	0.0%	3.3%	5.0%	6.7%	8.3%	35.0%	41.7%

図41-1 岩手県内／外旅行費用の比較（パック料金・比率 パックツアー利用者のみ）